



下水道モニター 平成27年度第2回アンケート結果

東京都下水道局では、様々な事業を行なっています。

第2回アンケートでは、東京都下水道局が現在までに実施した浸水対策の認知度、要望及び評価、感想などをうかがいました。この報告書は、その結果をまとめたものです。

- ◆実施期間 平成27年7月24日（金）～8月9日（日）17日間
- ◆対象者 東京都下水道局「平成27年度下水道モニター」
※東京都在住20歳以上の男女個人
- ◆回答者数 446名
- ◆調査方法 ウェブ形式による自記式アンケート

【目次】

- I 結果の概要
- II 回答者属性
- III 集計結果
- 1. 『浸水対策』について
- 2. 家庭での浸水への対策について

目次

I	結果の概要	3
II	回答者属性	4
III	集計結果	6
1.	『浸水対策』について	6
1-1.	浸水対策の取組の認知度	6
1-1-1.	浸水対策の取組の認知度 (1. 雨水幹線の整備)	7
1-1-2.	浸水対策の取組の認知度 (2. ポンプ所の能力増強)	8
1-1-3.	浸水対策の取組の認知度 (3. 雨水調整池の整備)	9
1-1-4.	浸水対策の取組の認知度 (4. 貯留管の整備)	10
1-1-5.	浸水対策の取組の認知度 (5. 枝線の増径)	11
1-1-6.	浸水対策の取組の認知度 (6. 増補管やバイパス管の整備)	12
1-1-7.	浸水対策の取組の認知度 (7. 雨水浸透ますの設置)	13
1-1-8.	浸水対策の取組の認知度 (8. 浸水予想区域図の公表)	14
1-1-9.	浸水対策の取組の認知度 (9. 地下室・半地下室における注意喚起)	15
1-2.	浸水対策の取組の理解度	16
1-2-1.	浸水対策の取組の理解度 (1. 雨水幹線の整備)	17
1-2-2.	浸水対策の取組の理解度 (2. ポンプ所の能力増強)	18
1-2-3.	浸水対策の取組の理解度 (3. 雨水調整池の整備)	19
1-2-4.	浸水対策の取組の理解度 (4. 貯留管の整備)	20
1-2-5.	浸水対策の取組の理解度 (5. 枝線の増径)	21
1-2-6.	浸水対策の取組の理解度 (6. 増補管やバイパス管の整備)	22
1-2-7.	浸水対策の取組の理解度 (7. 雨水浸透ますの設置)	23
1-2-8.	浸水対策の取組の理解度 (8. 浸水予想区域図の公表)	24
1-2-9.	浸水対策の取組の理解度 (9. 地下室・半地下室における注意喚起)	25

1-3. 浸水対策の取組の有効性	26
1-3-1. 浸水対策の取組の有効性 (1. 雨水幹線の整備)	27
1-3-2. 浸水対策の取組の有効性 (2. ポンプ所の能力増強)	28
1-3-3. 浸水対策の取組の有効性 (3. 雨水調整池の整備)	29
1-3-4. 浸水対策の取組の有効性 (4. 貯留管の整備)	30
1-3-5. 浸水対策の取組の有効性 (5. 枝線の増径)	31
1-3-6. 浸水対策の取組の有効性 (6. 増補管やバイパス管の整備)	32
1-3-7. 浸水対策の取組の有効性 (7. 雨水浸透ますの設置)	33
1-3-8. 浸水対策の取組の有効性 (8. 浸水予想区域図の公表)	34
1-3-9. 浸水対策の取組の有効性 (9. 地下室・半地下室における注意喚起)	35
1-4. 整備水準のレベルアップ対応	36
1-5. 「豪雨対策下水道緊急プラン」の認知度	37
1-6. 「豪雨対策下水道緊急プラン」の理解度	38
1-7. 「豪雨対策下水道緊急プラン」の評価	39
2. 家庭での浸水への対策について	40
2-1. 「浸水対策強化月間」の認知度	40
2-2. 「浸水対策強化月間」の情報入手経路	41
2-3. 浸水への備え	44
2-4. 浸水に対する安全性	47
2-5. 大雨による浸水に対する安全についての自由意見	48
2-6. 「東京アメッシュ」の認知度	49
2-7. 浸水対策取組への関心度	50

I 結果の概要

1. 調査目的：本調査は、都民の日常生活に関わる下水道への認知度や意識及び要望などを把握し、東京都下水道局が策定する広報戦略のための基礎資料を得ることを目的とする。
2. 調査項目：(1) 浸水対策取組への認知度・関心度
(2) 浸水被害対策の有効性
(3) 「豪雨対策下水道緊急プラン」の認知度・理解度
(4) 「浸水対策強化月間」の認知度・理解度
(5) 浸水に対する備え・安全性
(6) 「東京アメッシュ」の認知度
3. 調査対象：下水道モニター807名
4. 調査方法：web回答
5. 調査期間：平成27年7月24日（金）～平成27年8月9日（日）
6. 調査主体：東京都下水道局
7. 調査機関：株式会社アストジェイ
8. 回収結果：有効回答数（率） 446 標本（55.3%）
9. その他 : (1) 本文中の「n」は質問に対する回答者数で、比率（%）は全て「n」を基数として算出している。また、比率を小数点第一位で四捨五入し「0.0%」となる項目については、グラフ上の表記を省略する。
(2) 本文中の性別、年代、地域、子供と同居有無別分析において、性別、年代、地域、子供と同居それぞれにおける「無回答」「不明」は省略する。
(3) 文中の「n」は質問に対する回答者数で、比率（%）はすべて「n」を基数（100%）として算出している。小数点以下を四捨五入してあるので、内訳の合計が100%にならないこともある。

II 回答者属性

第1回アンケートは、平成27年7月24日（金）から8月9日（日）までの17日間で実施した。その結果、446名の方から回答があった。（回答率55.3%）

■ 回答者数（性別、年代別、職業別、地域別）

性別	モニター数	回答者数	回答率
男性	418	232	55.5%
女性	387	214	55.3%
無回答	2	0	0.0%
全体	807	446	55.3%

年代	モニター数	回答者数	回答率
20歳代	52	22	42.3%
30歳代	181	85	47.0%
40歳代	260	148	56.9%
50歳代	139	81	58.3%
60歳代	121	81	66.9%
70歳以上	52	29	55.8%
無回答	2	0	0.0%
全体	807	446	55.3%

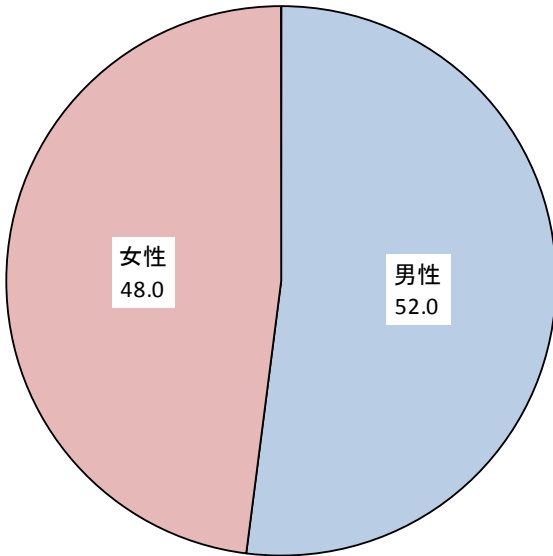
区分	モニター数	回答者数	回答率
会社員	356	185	52.0%
自営業	67	39	58.2%
学生	12	4	33.3%
私立学校教員・塾講師	6	4	66.7%
パート	71	40	56.3%
アルバイト	21	11	52.4%
専業主婦	150	89	59.3%
無職	90	55	61.1%
その他	32	19	59.4%
無回答	2	0	0.0%
全体	807	446	55.3%

地域	モニター数	回答者数	回答率
23区	461	257	55.7%
多摩地区	346	189	54.6%
全体	807	446	55.3%

■ 回答者属性別グラフ

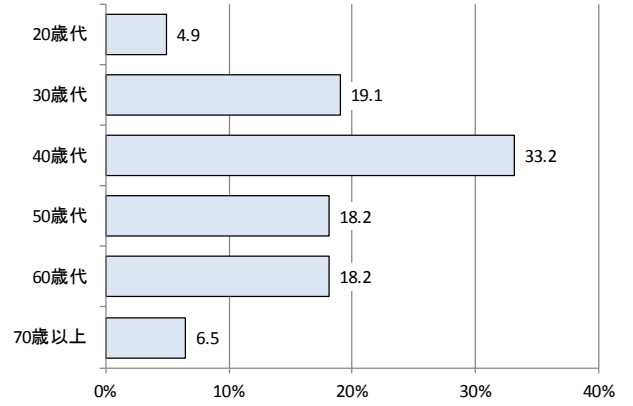
<性別>

n=446



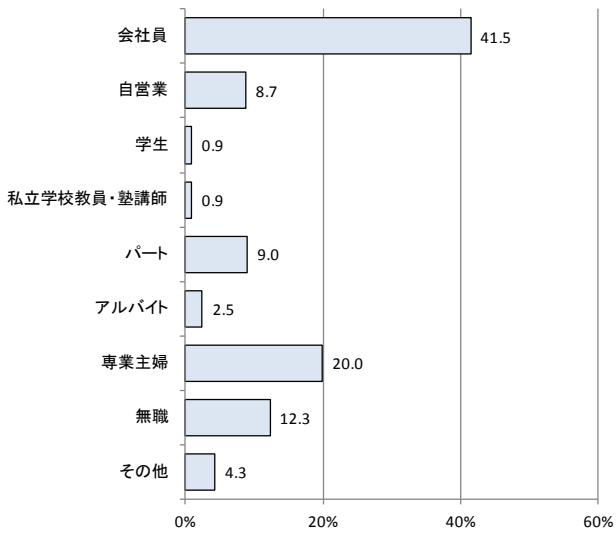
<年代別>

□全体 (n=446)



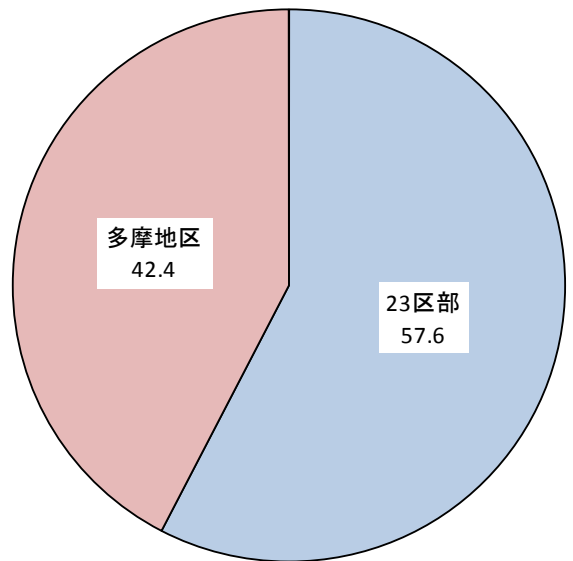
<職業別>

□全体 (n=446)



<地域別>

n=446



Ⅲ 集計結果

1. 『浸水対策』について

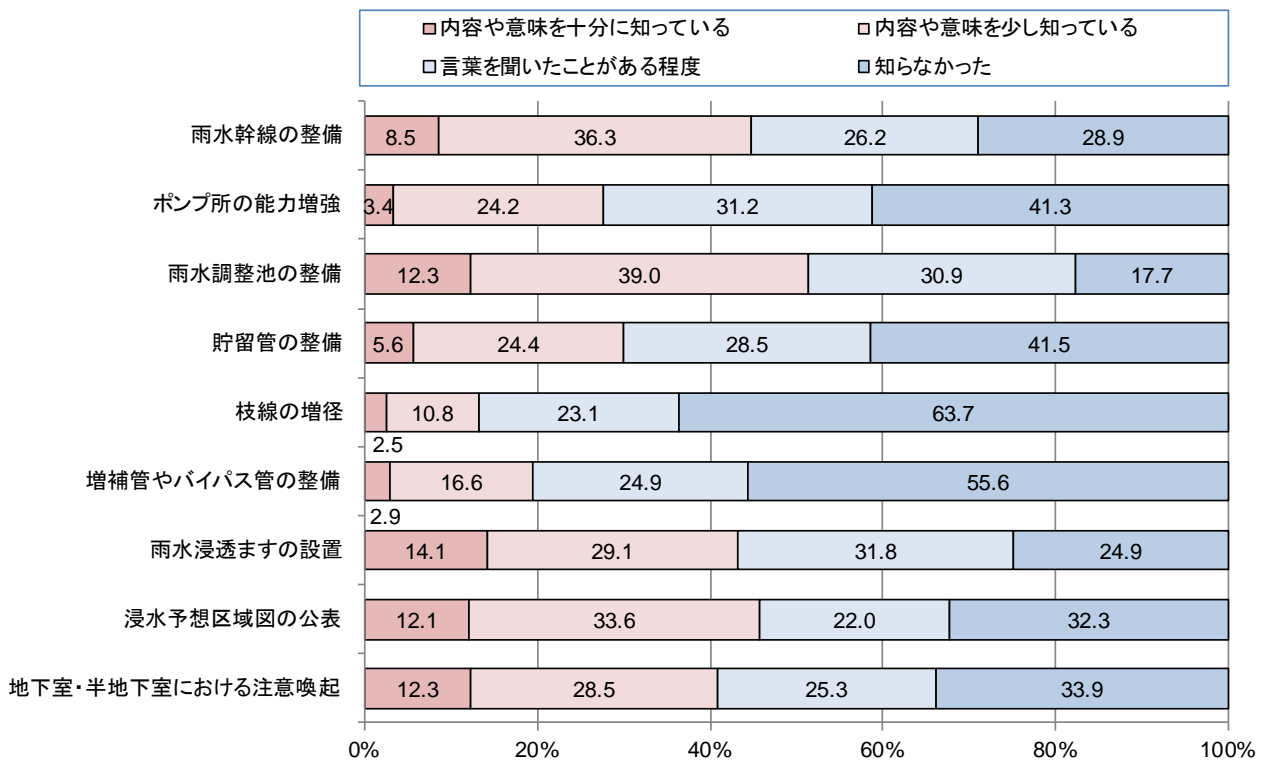
1-1. 浸水対策の取組の認知度

- ◆ 浸水対策の取組の【認知度】※については、「雨水調整池の整備」が82.2%と最も多く、次いで「雨水浸透ますの設置」が75.0%、「雨水幹線の整備」が71.0%であった。
- ◆ 一方で、「枝線の増径」は36.4%で最も少なかった。

Q5. 東京都下水道局が行っている浸水対策の取組についてうかがいます。以下のそれぞれの項目について、あなたはこのことをご存知でしたか？該当する選択肢を一つだけお選び下さい（単一回答）。

図表 1-1 浸水対策の取組の認知度（全体）

(%)



※ 浸水対策の取組の認知度について、「内容や意味を十分に知っている」、「内容や意味を少し知っている」、「言葉を聞いたことがある程度」の回答を合算した比率を【認知度】、「知らなかった」比率を【非認知度】と定義した。

1-1-1. 浸水対策の取組の認知度 (1. 雨水幹線の整備)

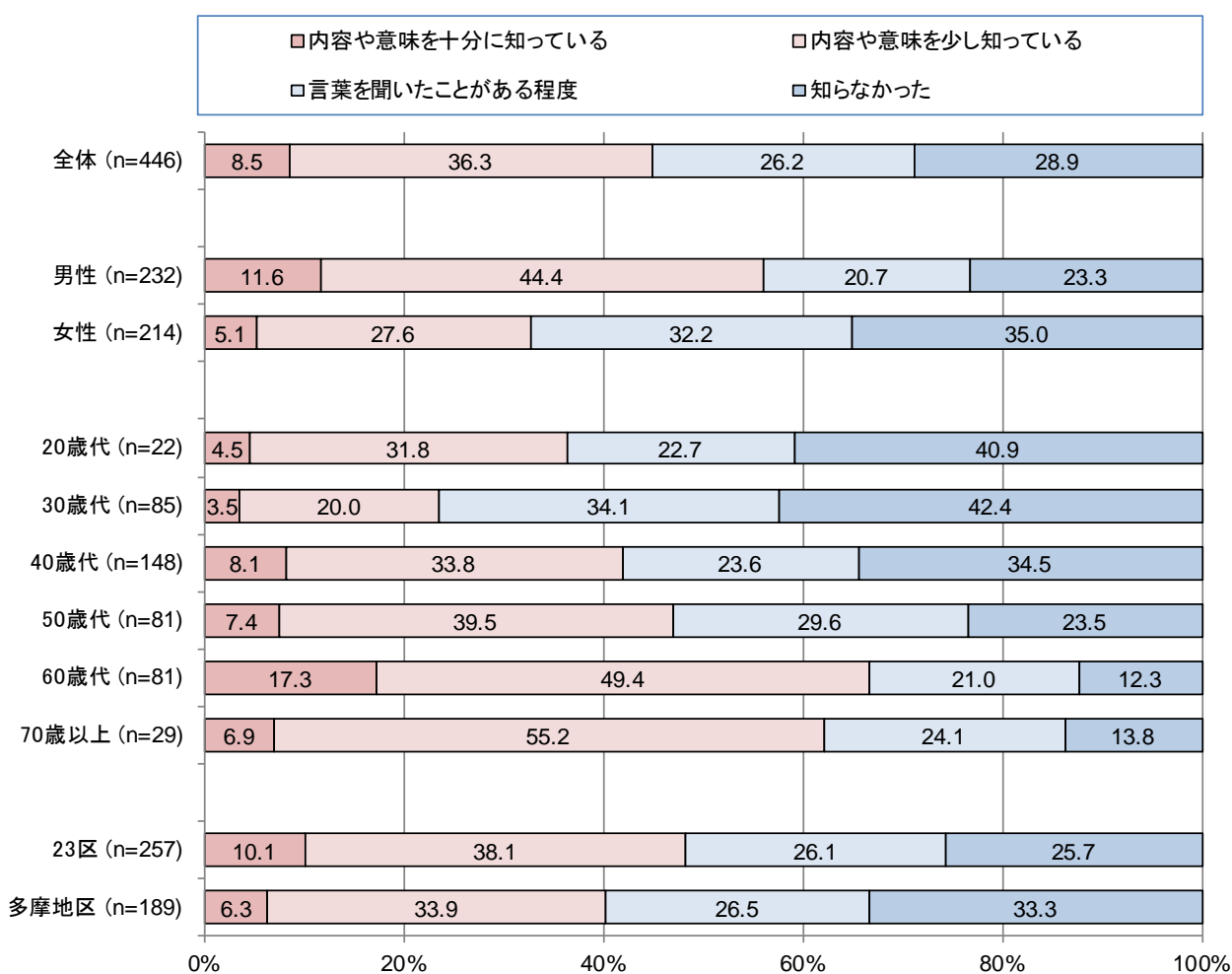
- ◆ 浸水対策の取組の認知度「雨水幹線の整備」については、「内容や意味を少し知っている」が 36.3%と最も多く、次いで「知らなかった」が 28.9%となった。
- ◆ 性別で見ると、「内容や意味を少し知っている」は、全体平均より男性が 8.1 ポイント高く、女性が 8.7 ポイント低くなった。
- ◆ 年代別で見ると、「内容や意味を十分に知っている」では、60 歳代が全体平均より 8.8 ポイント高く、30 歳代が 5.0 ポイント低くなった。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q 5. 東京都下水道局が行っている浸水対策の取組についてうかがいます。以下のそれぞれの項目について、あなたはこのことをご存知でしたか？該当する選択肢を一つだけお選び下さい（単一回答）。

【1. 雨水幹線の整備】

図表 1-1-1 浸水対策の取組の認知度（雨水幹線の整備）

(%)



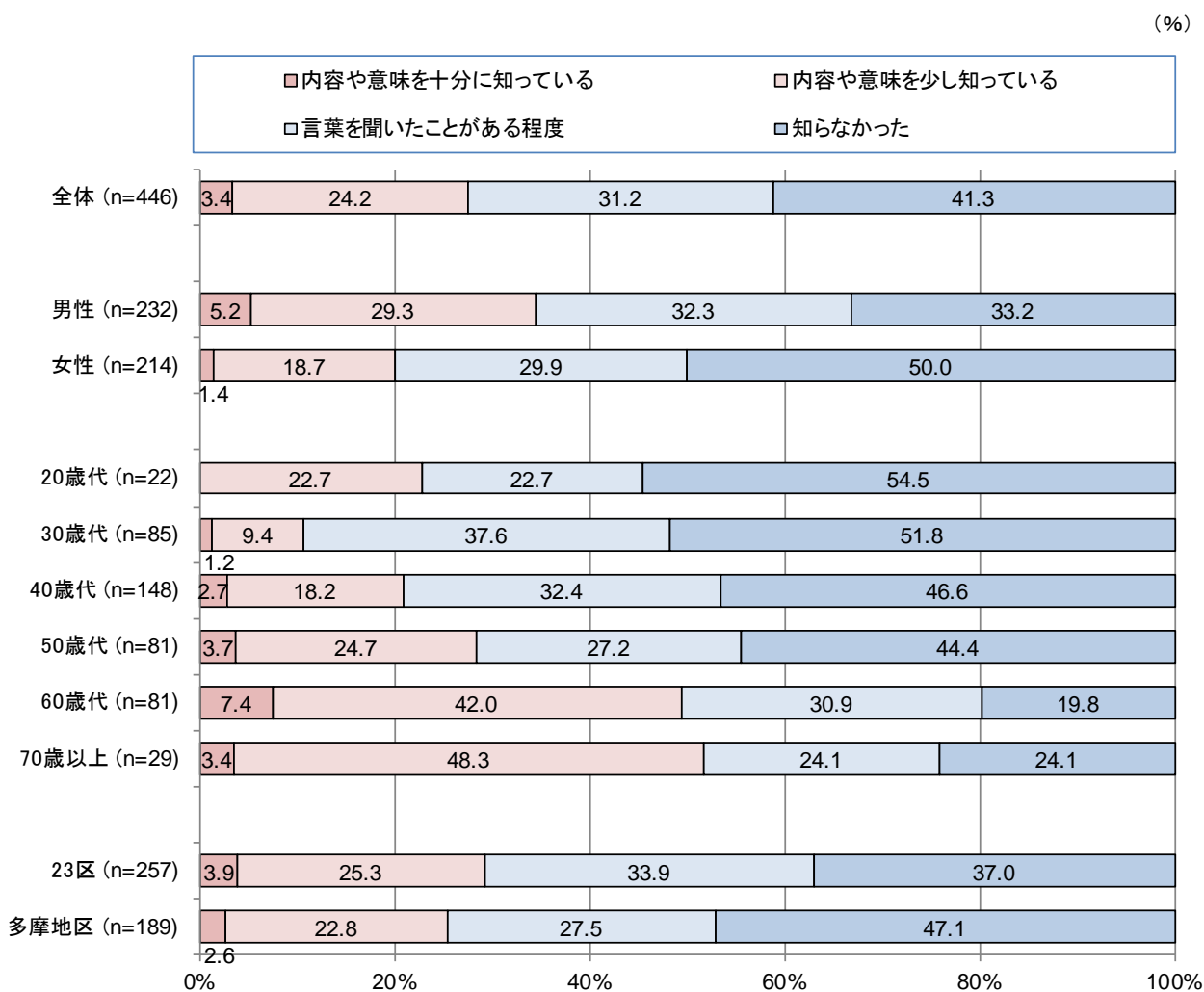
1-1-2. 浸水対策の取組の認知度 (2. ポンプ所の能力増強)

- ◆ 浸水対策の取組の認知度「ポンプ所の能力増強」については、「言葉を聞いたことがある程度」が31.2%、「内容や意味を少し知っている」が24.2%となった。
- ◆ 性別で見ると、「内容や意味を少し知っている」は、全体平均より男性が5.1ポイント高く、女性が5.5ポイント低くなった。
- ◆ 年代別で見ると、「内容や意味を少し知っている」では、20歳代と30歳代を除いて年代が大きくなるにつれて増加する傾向がみられた。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q5. 東京都下水道局が行っている浸水対策の取組についてうかがいます。以下のそれぞれの項目について、あなたはこのことをご存知でしたか？該当する選択肢を一つだけお選び下さい（単一回答）。

【2. ポンプ所の能力増強】

図表 1-1-2 浸水対策の取組の認知度 (ポンプ所の能力増強)



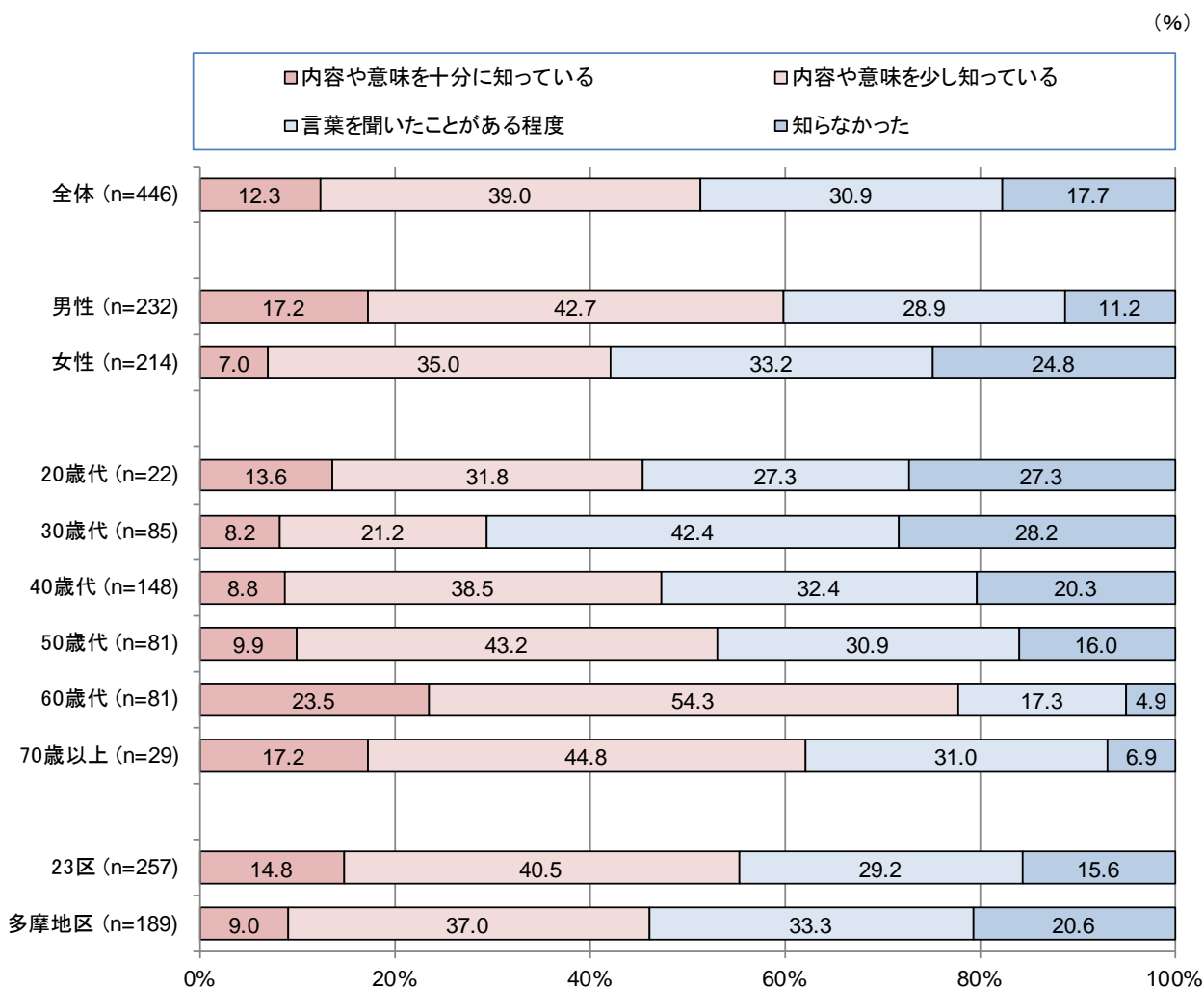
1-1-3. 浸水対策の取組の認知度 (3. 雨水調整池の整備)

- ◆ 浸水対策の取組の認知度「雨水調整池の整備」については、「内容や意味を少し知っている」が 39.0% と最も多く、次いで「言葉を聞いたことがある程度」が 30.9% となった。
- ◆ 性別で見ると、「内容や意味を十分に知っている」は、全体平均より女性が 5.3 ポイント低くなった。
- ◆ 年代別で見ると、60 歳代で「内容や意味を十分に知っている」が 23.5%、「内容や意味を少し知っている」が 54.3% と最も多くなった。
- ◆ 地域別では、全体平均から ±5.0% 以上差異がある項目はなかった。

Q 5. 東京都下水道局が行っている浸水対策の取組についてうかがいます。以下のそれぞれの項目について、あなたはこのことをご存知でしたか？該当する選択肢を一つだけお選び下さい（単一回答）。

【3. 雨水調整池の整備】

図表 1-1-3 浸水対策の取組の認知度（雨水調整池の整備）



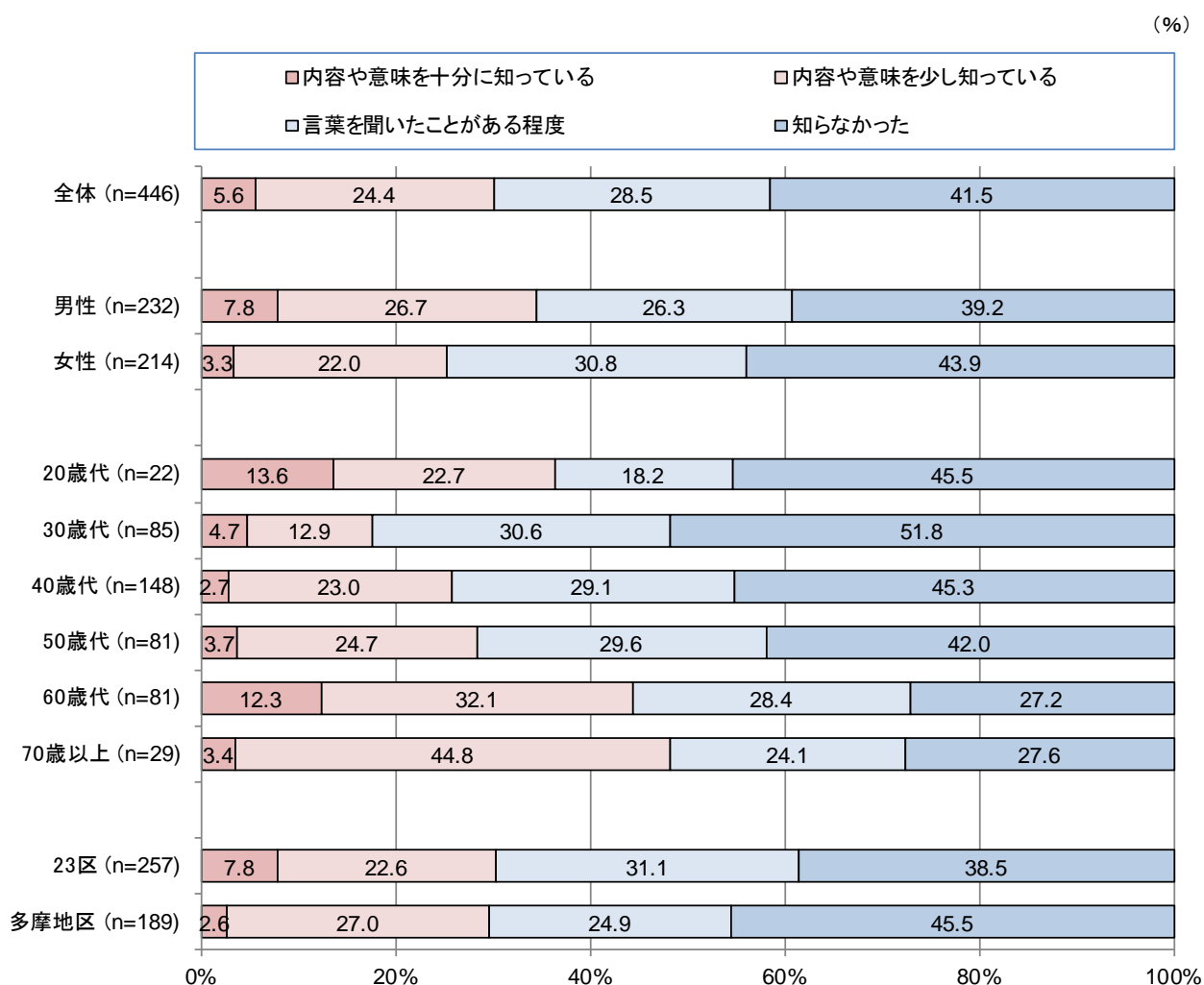
1-1-4. 浸水対策の取組の認知度 (4. 貯留管の整備)

- ◆ 浸水対策の取組の認知度「貯留管の整備」については、「内容や意味を少し知っている」が28.5%、「言葉を聞いたことがある程度」が24.4%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別で見ると、「内容や意味を十分に知っている」では20歳代が13.6%と最も多く、「内容や意味を少し知っている」では70歳以上が44.8%と最も多くなった。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q5. 東京都下水道局が行っている浸水対策の取組についてうかがいます。以下のそれぞれの項目について、あなたはこのことをご存知でしたか？該当する選択肢を一つだけお選び下さい（単一回答）。

【4. 貯留管の整備】

図表 1-1-4 浸水対策の取組の認知度（貯留管の整備）



1-1-5. 浸水対策の取組の認知度 (5. 枝線の増径)

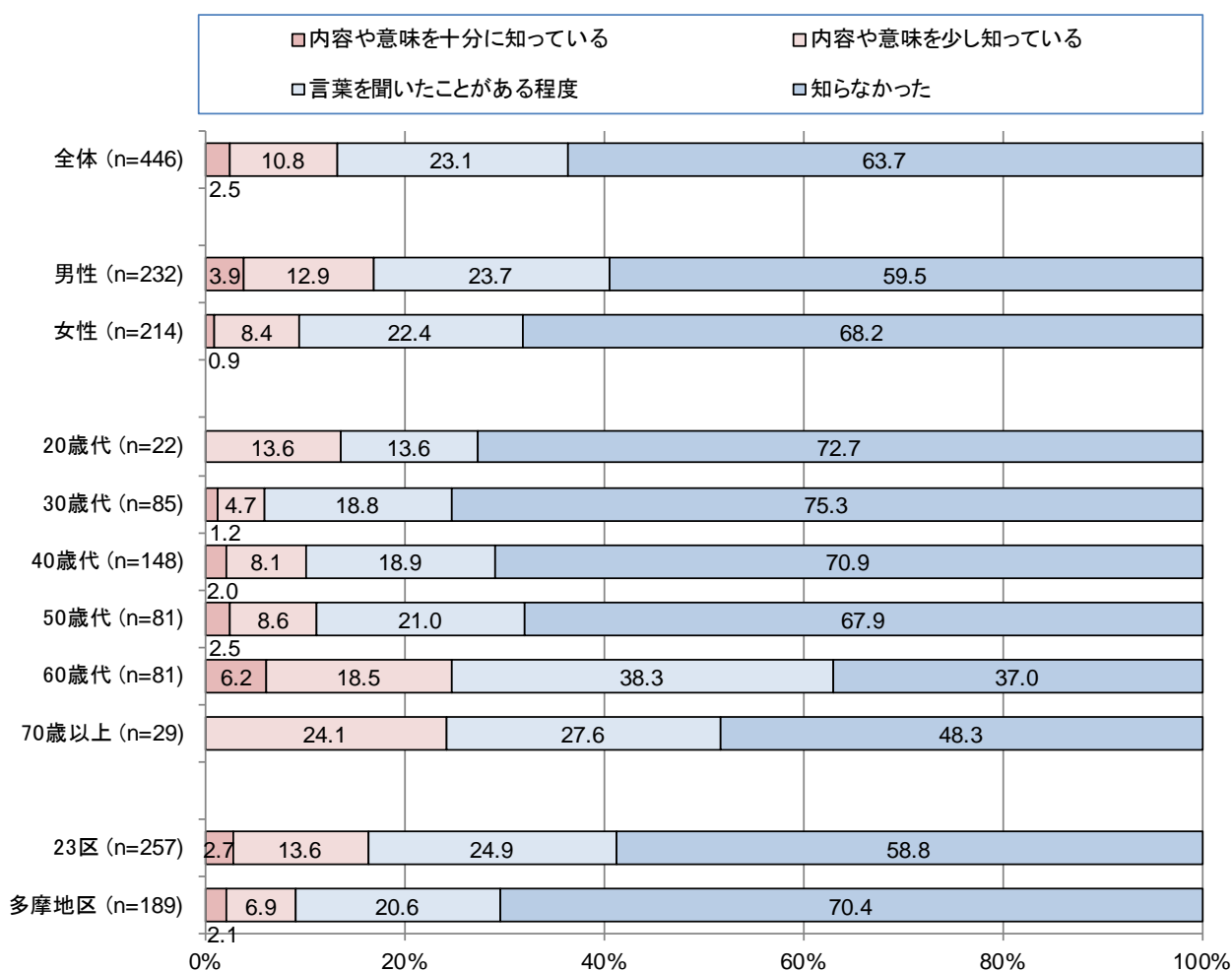
- ◆ 浸水対策の取組の認知度「枝線の増径」については、「内容や意味を少し知っている」が10.8%、「言葉を聞いたことがある程度」が23.1%となった。
- ◆ 性別で見ると、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別で見ると、60歳代の【認知度】※が最も多く、全体平均より26.7ポイント高くなった。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q5. 東京都下水道局が行っている浸水対策の取組についてうかがいます。以下のそれぞれの項目について、あなたはこのことをご存知でしたか？該当する選択肢を一つだけお選び下さい（単一回答）。

【5. 枝線の増径】

図表 1-1-5 浸水対策の取組の認知度（枝線の増径）

(%)



1-1-6. 浸水対策の取組の認知度 (6. 増補管やバイパス管の整備)

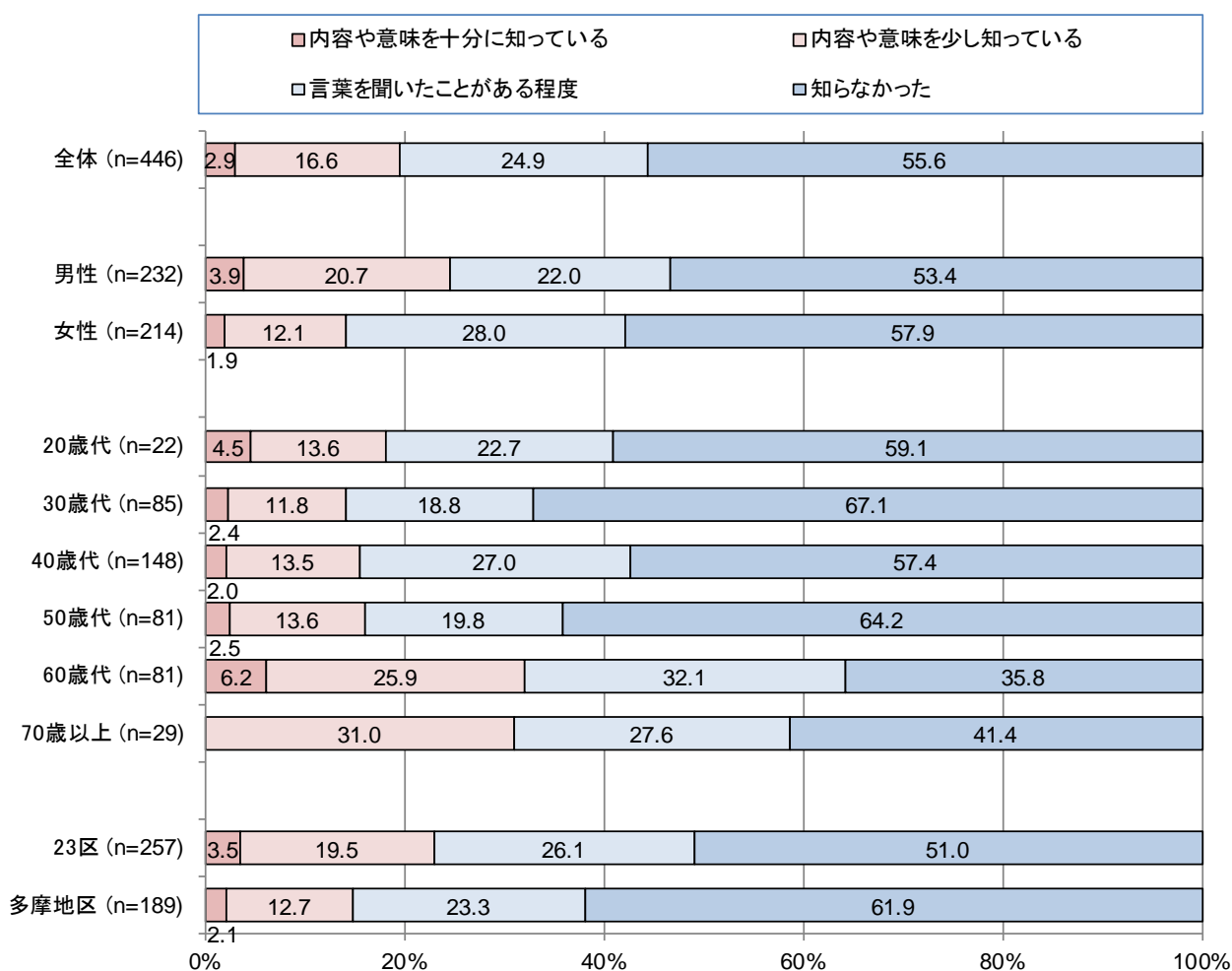
- ◆ 浸水対策の取組の認知度「増補管やバイパス管の整備」については、「内容や意味を少し知っている」が16.6%、「言葉を聞いたことがある程度」が24.9%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別でみると、60歳代と70歳以上の【認知度】※が5割以上と高くなった。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q5. 東京都下水道局が行っている浸水対策の取組についてうかがいます。以下のそれぞれの項目について、あなたはこのことをご存知でしたか？該当する選択肢を一つだけお選び下さい（単一回答）。

【6. 増補管やバイパス管の整備】

図表 1-1-6 浸水対策の取組の認知度（増補管やバイパス管の整備）

(%)



1-1-7. 浸水対策の取組の認知度 (7. 雨水浸透ますの設置)

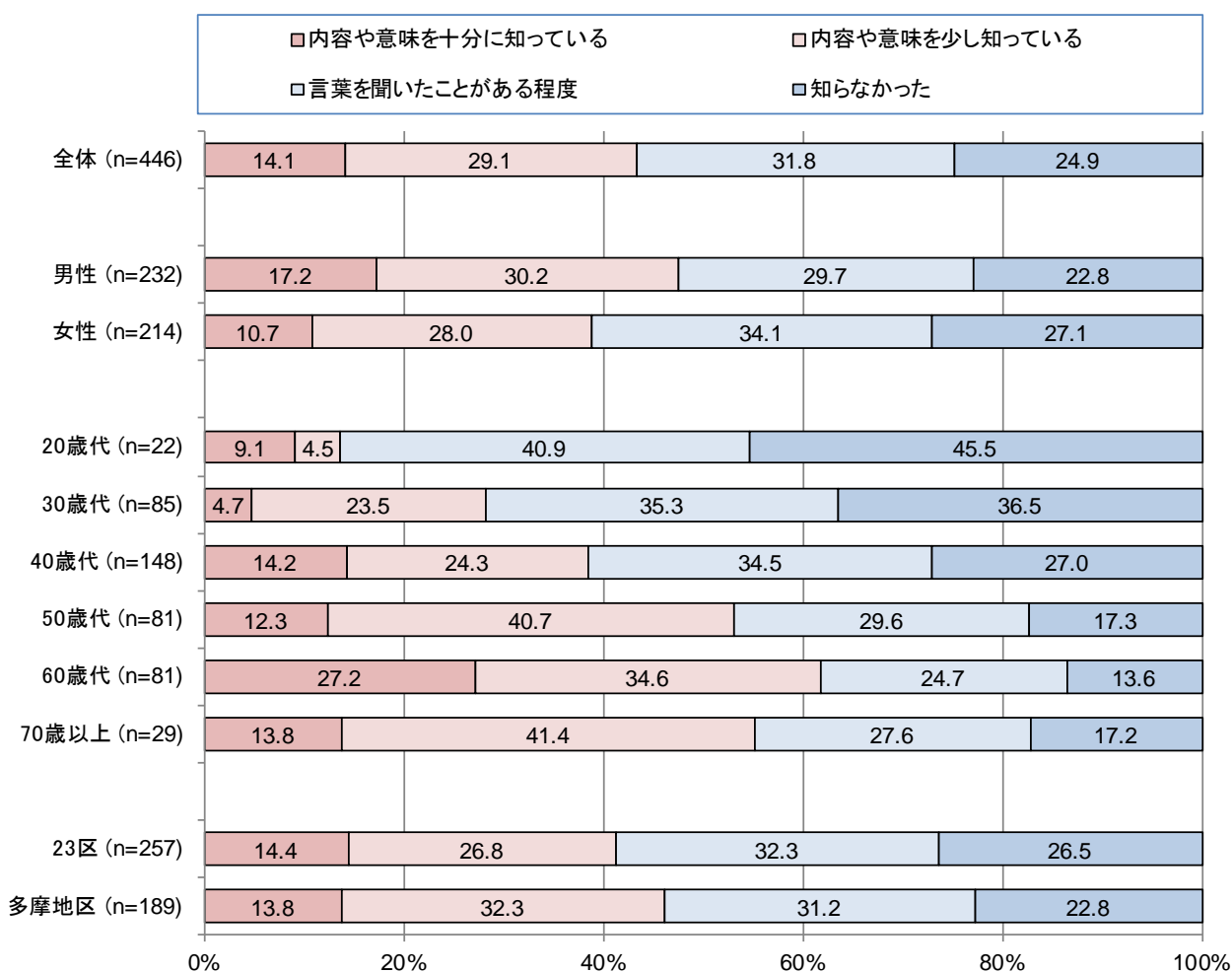
- ◆ 浸水対策の取組の認知度「雨水浸透ますの設置」については、「言葉を聞いたことがある程度」が31.8%と最も多く、次いで「内容や意味を少し知っている」が29.1%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別で見ると、【認知度】*は70歳以上を除いて年代が大きくなるにつれて増加する傾向がみられた。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q5. 東京都下水道局が行っている浸水対策の取組についてうかがいます。以下のそれぞれの項目について、あなたはこのことをご存知でしたか？該当する選択肢を一つだけお選び下さい（単一回答）。

【7. 雨水浸透ますの設置】

図表 1-1-7 浸水対策の取組の認知度（雨水浸透ますの設置）

(%)



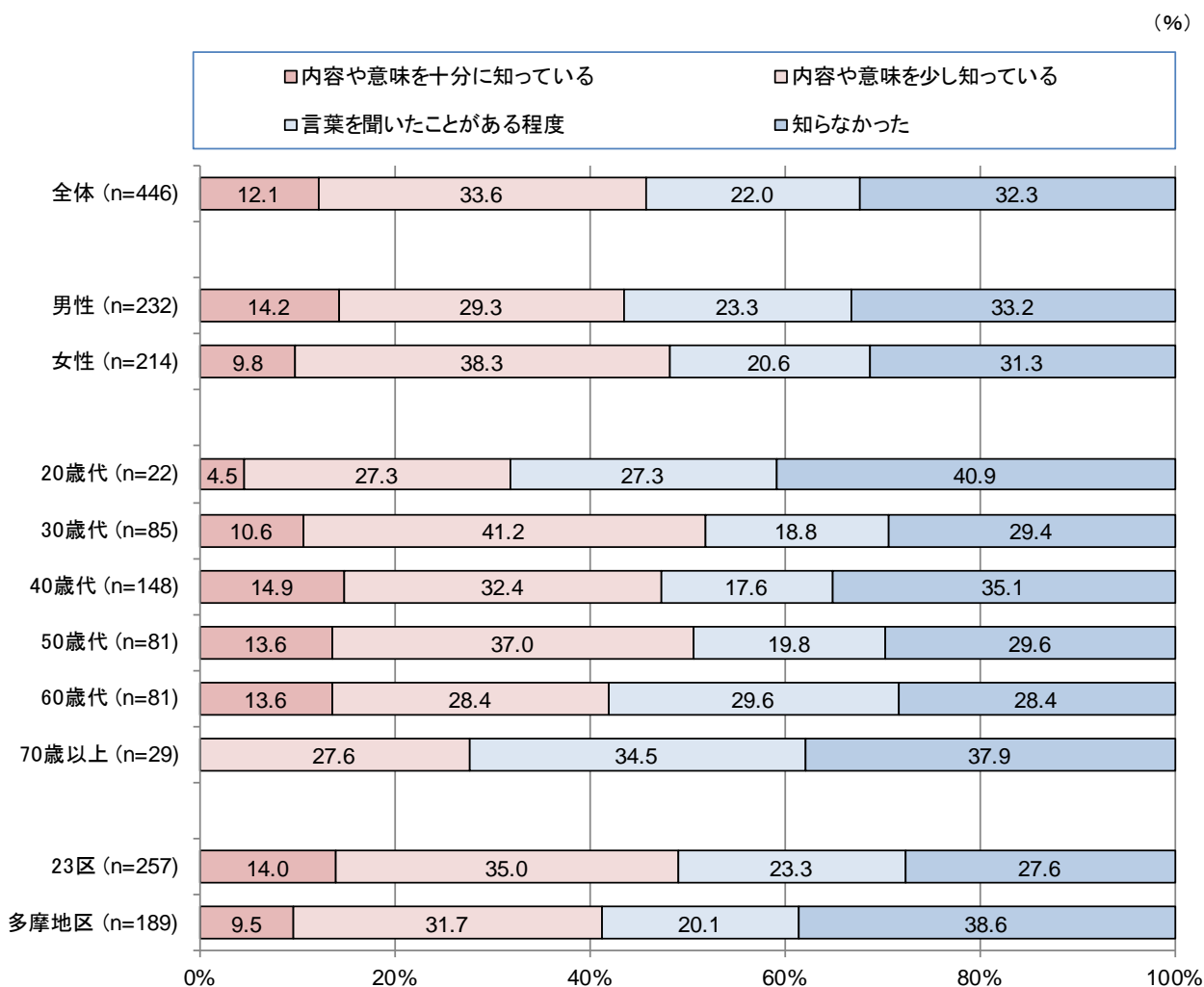
1-1-8. 浸水対策の取組の認知度 (8. 浸水予想区域図の公表)

- ◆ 浸水対策の取組の認知度「浸水予想区域図の公表」については、「内容や意味を少し知っている」が33.6%、「言葉を聞いたことがある程度」が22.0%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった
- ◆ 年代別でみると、「内容や意味を少し知っている」では30歳代が全体平均より7.6ポイント高く、「言葉を聞いたことがある程度」では70歳以上が全体平均より12.5ポイント高くなった。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q5. 東京都下水道局が行っている浸水対策の取組についてうかがいます。以下のそれぞれの項目について、あなたはこのことをご存知でしたか？該当する選択肢を一つだけお選び下さい（単一回答）。

【8. 浸水予想区域図の公表】

図表 1-1-8 浸水対策の取組の認知度（浸水予想区域図の公表）



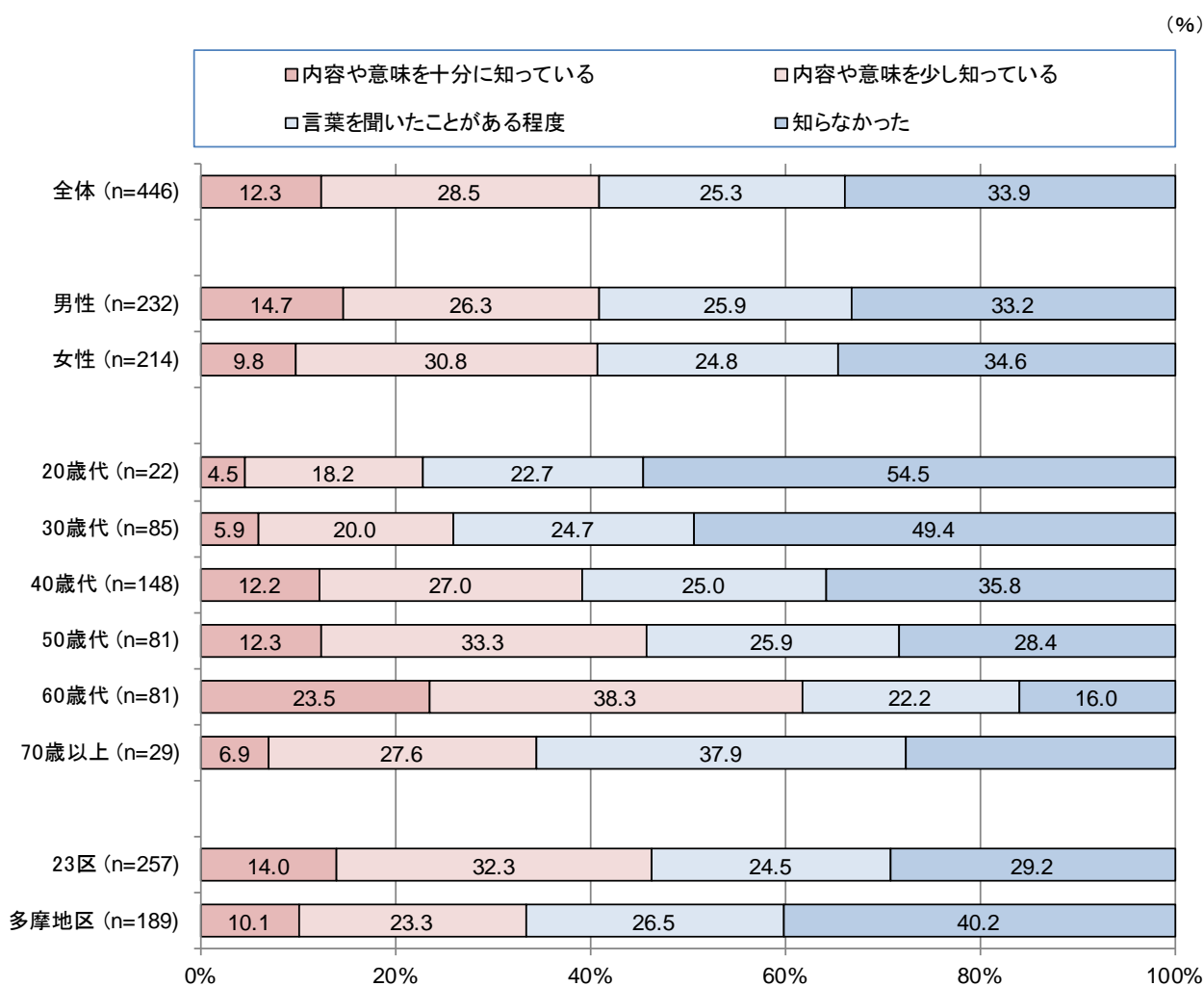
1-1-9. 浸水対策の取組の認知度 (9. 地下室・半地下室における注意喚起)

- ◆ 浸水対策の取組の認知度「地下室・半地下室における注意喚起」については、「内容や意味を少し知っている」が28.5%、「言葉を聞いたことがある程度」が25.3%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別でみると、【認知度】※は70歳以上を除いて、年齢が大きくなるにつれて増加する傾向がみられた。
- ◆ 地域別では、多摩地区で「内容や意味を少し知っている」が全体平均より5.2ポイント低くなった。

Q5. 東京都下水道局が行っている浸水対策の取組についてうかがいます。以下のそれぞれの項目について、あなたはこのことをご存知でしたか？該当する選択肢を一つだけお選び下さい（単一回答）。

【9. 地下室・半地下室における注意喚起】

図表 1-1-9 浸水対策の取組の認知度 (地下室・半地下室における注意喚起)



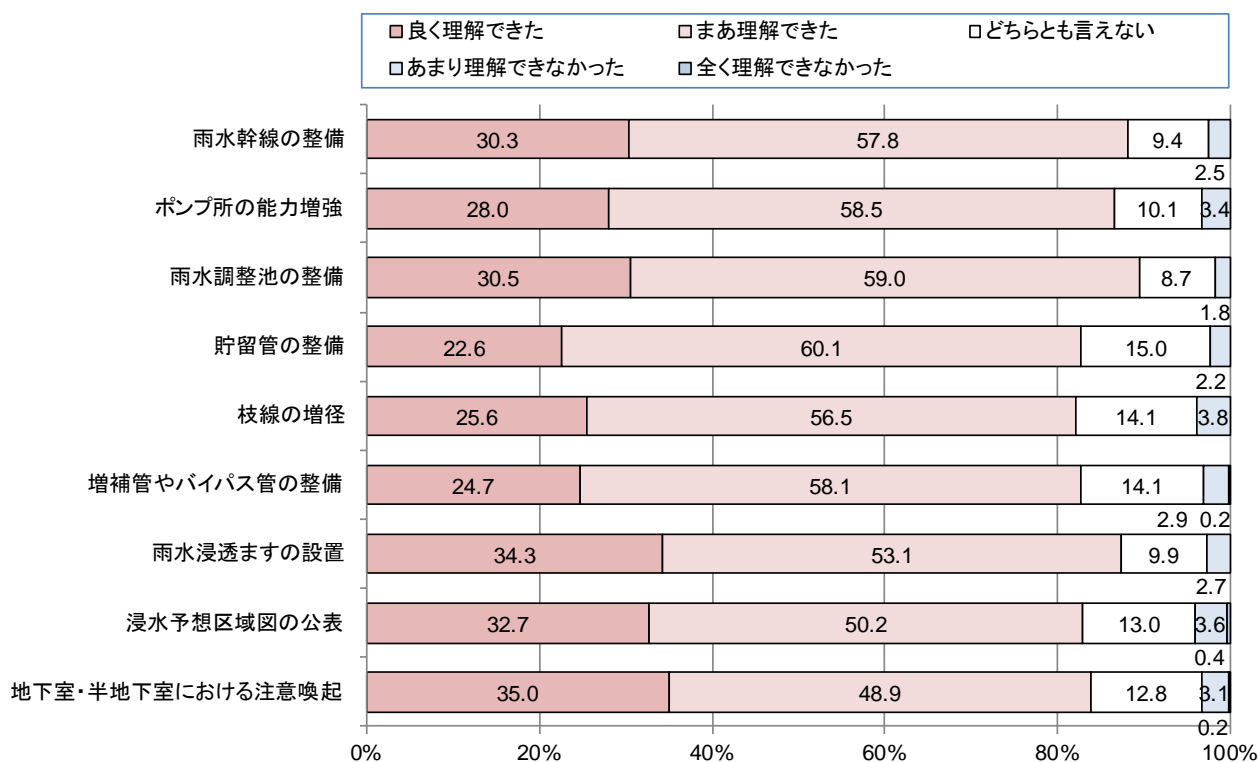
1-2. 浸水対策の取組の理解度

- ◆ 浸水対策の取組の【理解度】※については、「雨水調整池の整備」が89.5%と最も多く、次いで「雨水幹線の整備」が88.1%、「雨水浸透ますの設置」が87.4%であった。
- ◆ 一方で、「枝線の増径」は82.1%で最も少なかった。

Q6. 浸水対策のイメージと具体策をご覧いただき、以下に示す各取組について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。(単一回答)

図表 1-2 浸水対策の取組の理解度 (全体)

(%)



※ 浸水対策の取組について、「良く理解できた」と「まあ理解できた」の回答を合算した比率を【理解度】、「あまり理解できなかった」「全く理解できなかった」の回答を合算した比率を【非理解度】と定義した。

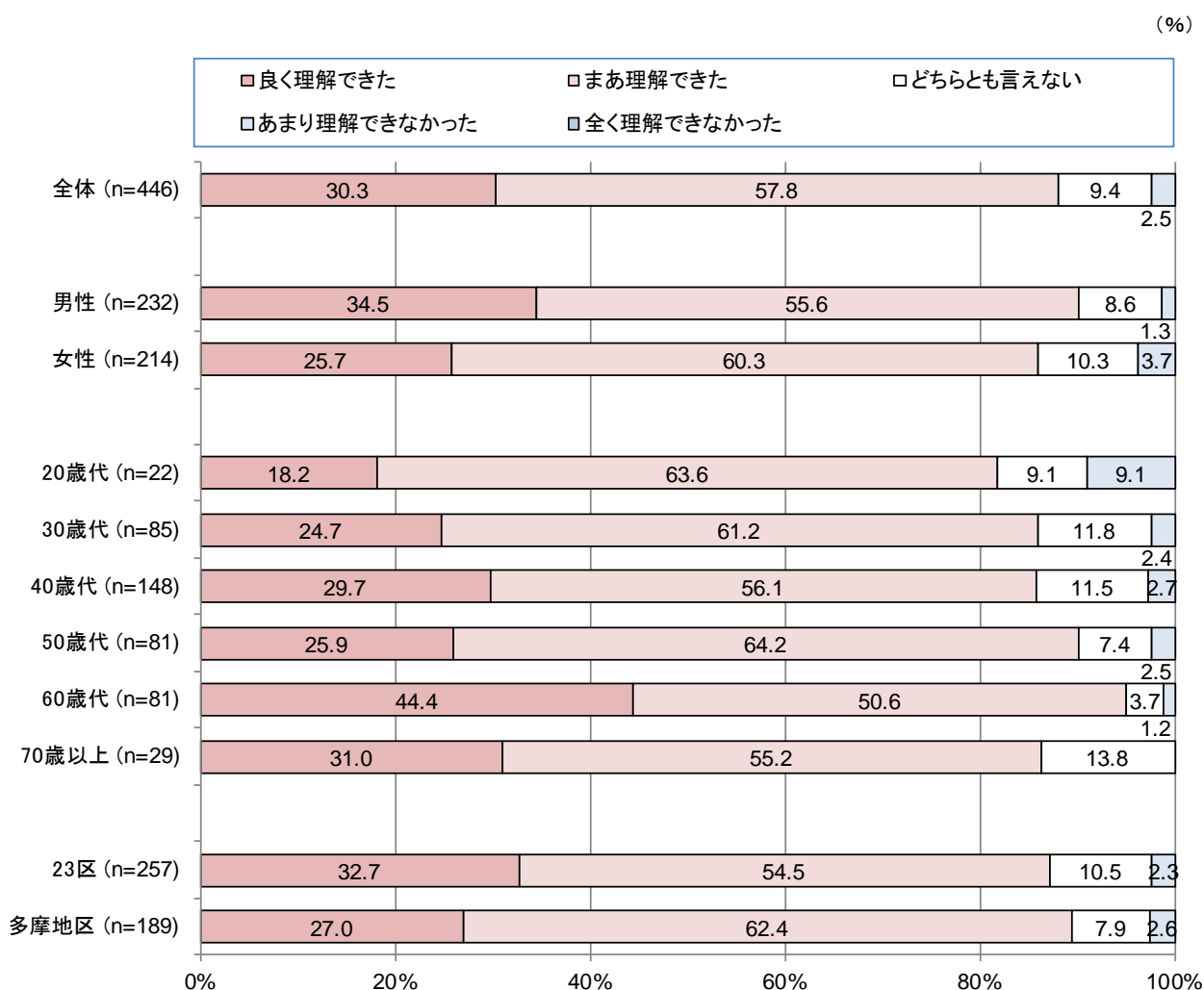
1-2-1. 浸水対策の取組の理解度 (1. 雨水幹線の整備)

- ◆ 浸水対策の取組の理解度「雨水幹線の整備」については、「良く理解できた」が30.3%、「まあ理解できた」が57.8%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別でみると、「良く理解できた」では60歳代が44.4%と最も多く、全体平均より14.1ポイント高くなった。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q6. 浸水対策のイメージと具体策をご覧いただき、以下に示す各取組について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。(単一回答)

【1. 雨水幹線の整備】

図表 1-2-1 浸水対策の取組の理解度 (雨水幹線の整備)



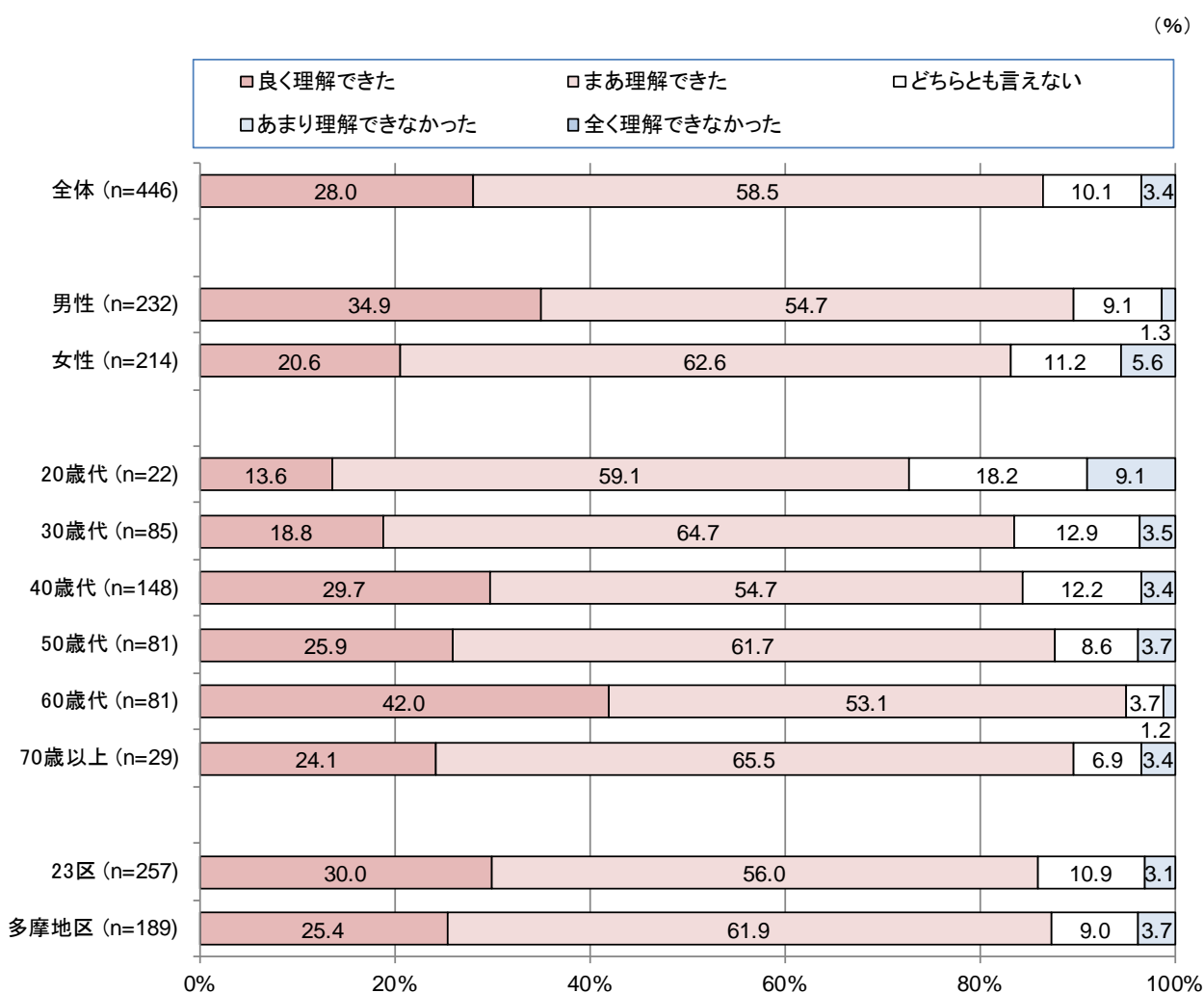
1-2-2. 浸水対策の取組の理解度 (2. ポンプ所の能力増強)

- ◆ 浸水対策の取組の理解度「ポンプ所の能力増強」については、「良く理解できた」が28.0%、「まあ理解できた」が58.5%となった。
- ◆ 性別では、女性の「良く理解できた」が全体平均より7.4ポイント低くなった。
- ◆ 年代別でみると、【理解度】※は60歳代が95.1%と全体平均より8.6ポイント高くなった。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q6. 浸水対策のイメージと具体策をご覧いただき、以下に示す各取組について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。(単一回答)

【2. ポンプ所の能力増強】

図表 1-2-2 浸水対策の取組の理解度 (ポンプ所の能力増強)



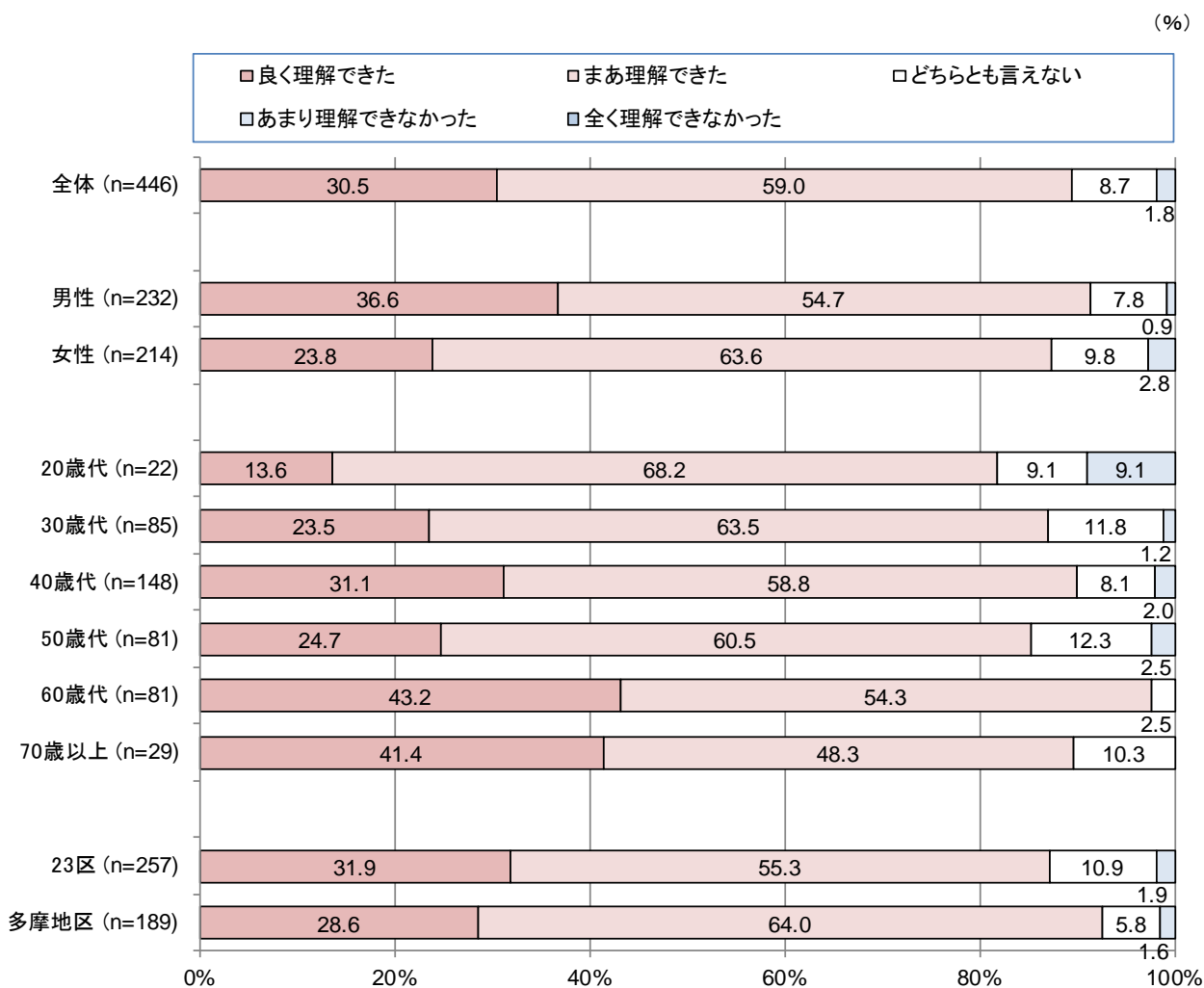
1-2-3. 浸水対策の取組の理解度 (3. 雨水調整池の整備)

- ◆ 浸水対策の取組の理解度「雨水調整池の整備」については、「良く理解できた」が30.5%、「まあ理解できた」が59.0%となった。
- ◆ 性別で見ると、「良く理解できた」は男性が全体平均より6.1ポイント高く、女性が6.7ポイント低くなった。
- ◆ 年代別で見ると、【理解度】※は60歳代が全体平均より8.0ポイント高く、20歳代が7.8ポイント低くなった。
- ◆ 地域別では、多摩地区の「まあ理解できた」が全体平均より5.0ポイント高くなった。

Q6. 浸水対策のイメージと具体策をご覧いただき、以下に示す各取組について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。(単一回答)

【3. 雨水調整池の整備】

図表 1-2-3 浸水対策の取組の理解度 (雨水調整池の整備)



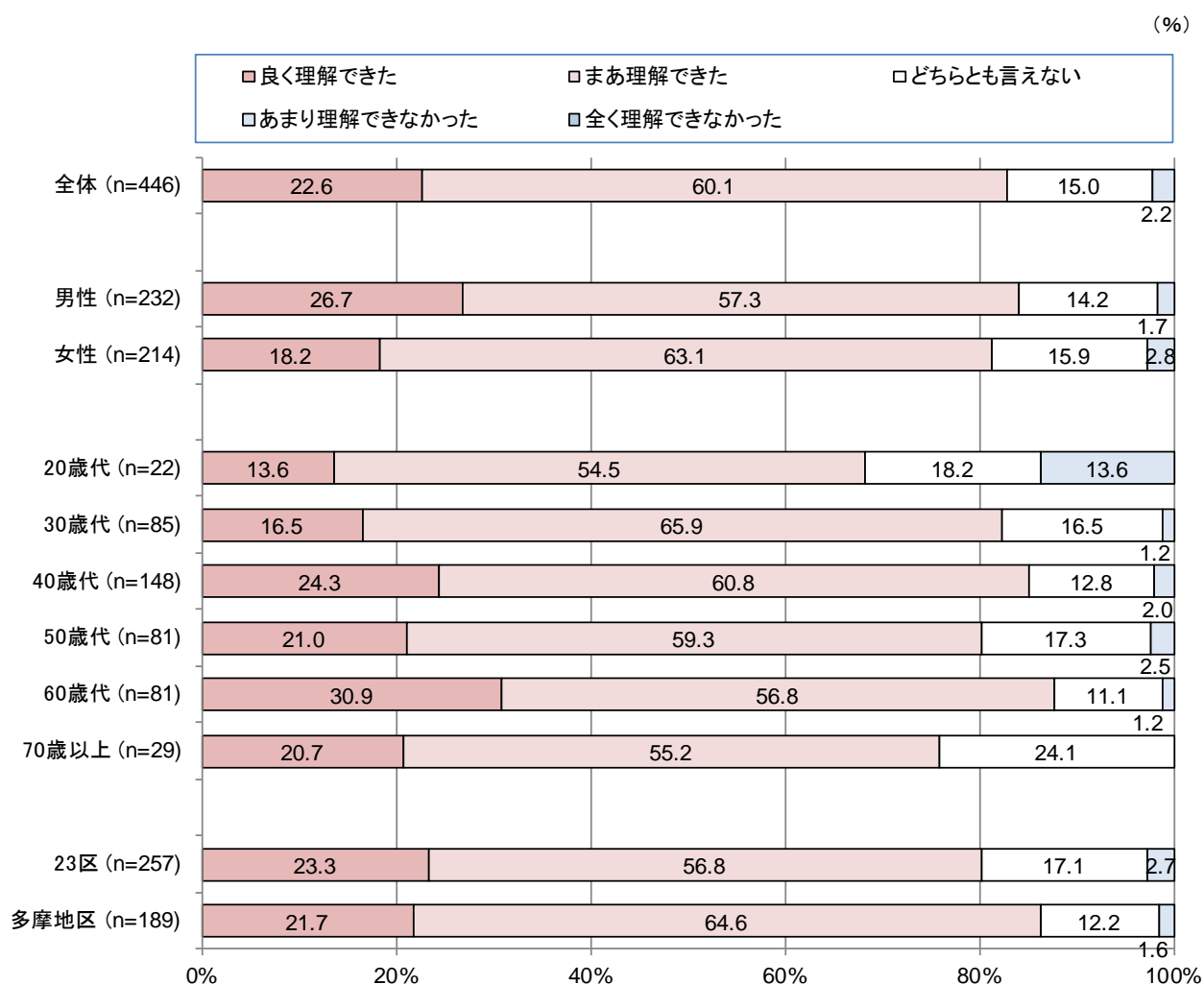
1-2-4. 浸水対策の取組の理解度 (4. 貯留管の整備)

- ◆ 浸水対策の取組の理解度「貯留管の整備」については、「良く理解できた」が22.6%、「まあ理解できた」が60.1%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別でみると、【理解度】※は20歳代が全体平均より14.6ポイント、70歳以上が6.8ポイント低くなった。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q6. 浸水対策のイメージと具体策をご覧いただき、以下に示す各取組について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。(単一回答)

【4. 貯留管の整備】

図表 1-2-4 浸水対策の取組の理解度 (貯留管の整備)



1-2-5. 浸水対策の取組の理解度 (5. 枝線の増径)

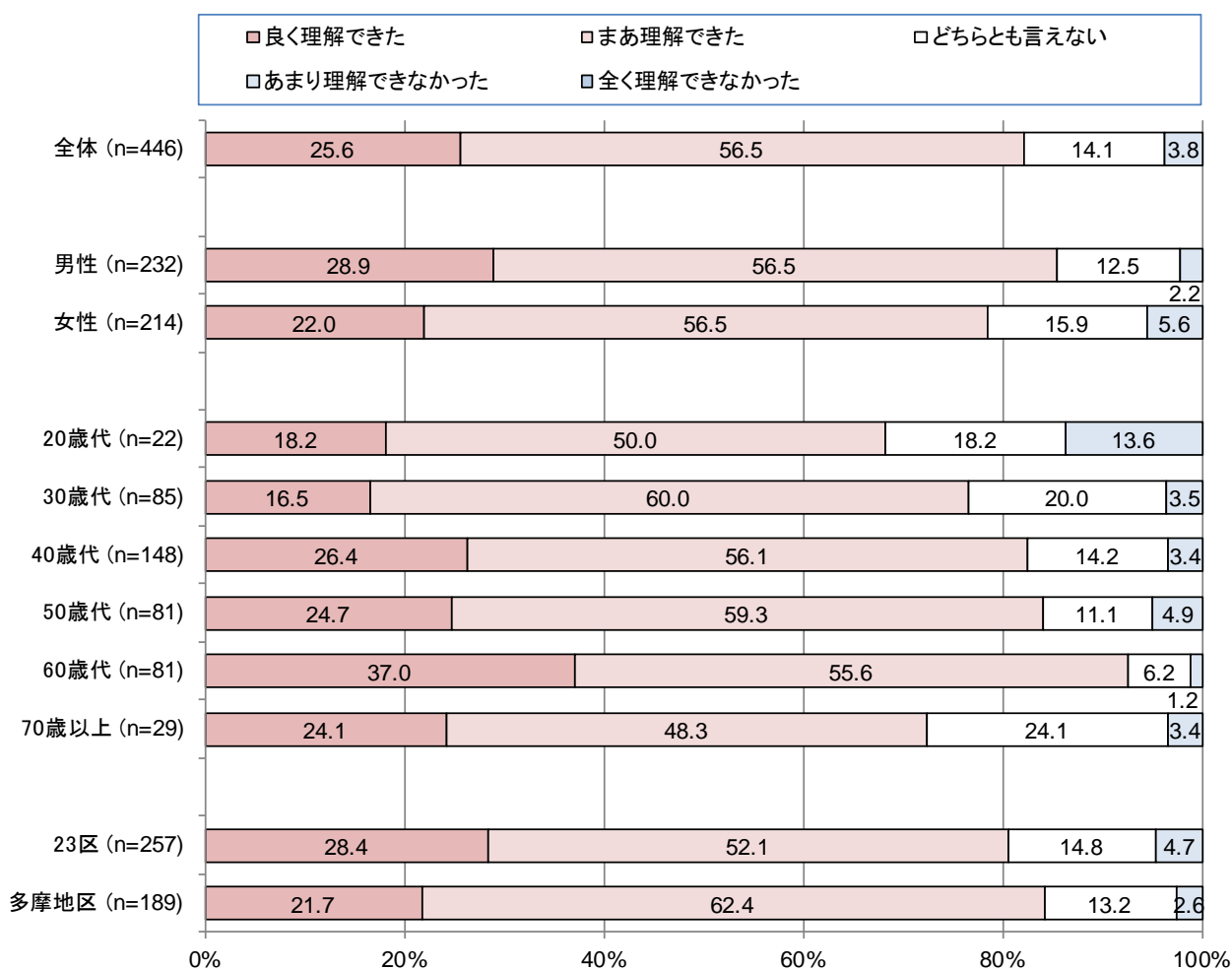
- ◆ 浸水対策の取組の理解度「枝線の増径」については、「良く理解できた」が 25.6%、「まあ理解できた」が 56.5%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別で見ると、70歳以上を除いて年代が大きくなるにつれて【理解度】※は増加する傾向がみられた。
- ◆ 地域別では、多摩地区の「まあ理解できた」が全体平均より 5.9ポイント高くなった。

Q6. 浸水対策のイメージと具体策をご覧いただき、以下に示す各取組について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。(単一回答)

【5. 枝線の増径】

図表 1-2-5 浸水対策の取組の理解度 (枝線の増径)

(%)



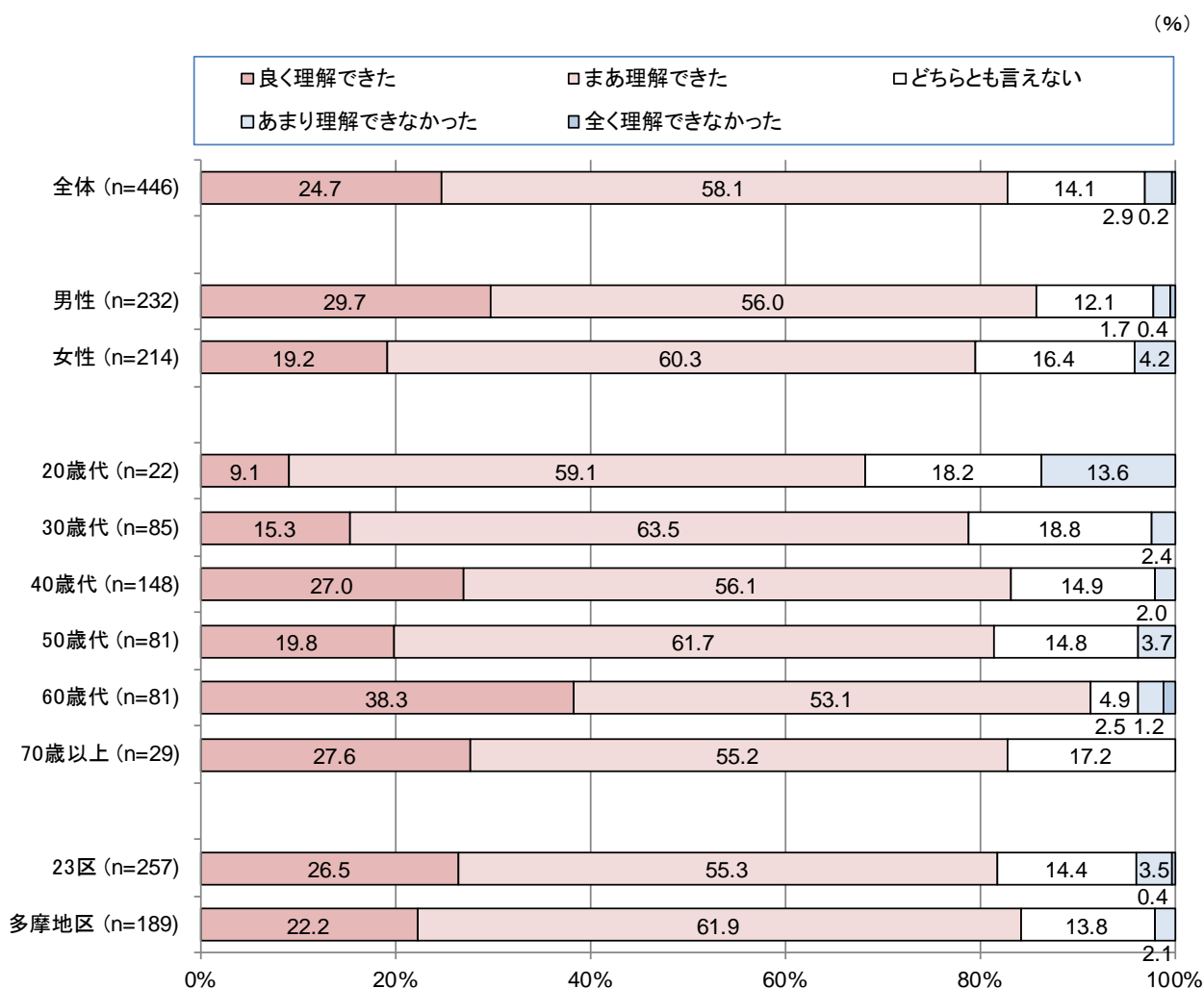
1-2-6. 浸水対策の取組の理解度 (6. 増補管やバイパス管の整備)

- ◆ 浸水対策の取組の理解度「増補管やバイパス管の整備」については、「良く理解できた」が24.7%、「まあ理解できた」が58.1%となった。
- ◆ 性別で見ると、「良く理解できた」で女性が5.5ポイント低くなった。
- ◆ 年代別で見ると、【理解度】※は20歳代が全体平均より14.6ポイント低く、60歳代が8.6ポイント高くなった。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q6. 浸水対策のイメージと具体策をご覧いただき、以下に示す各取組について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。(単一回答)

【6. 増補管やバイパス管の整備】

図表 1-2-6 浸水対策の取組の理解度 (増補管やバイパス管の整備)



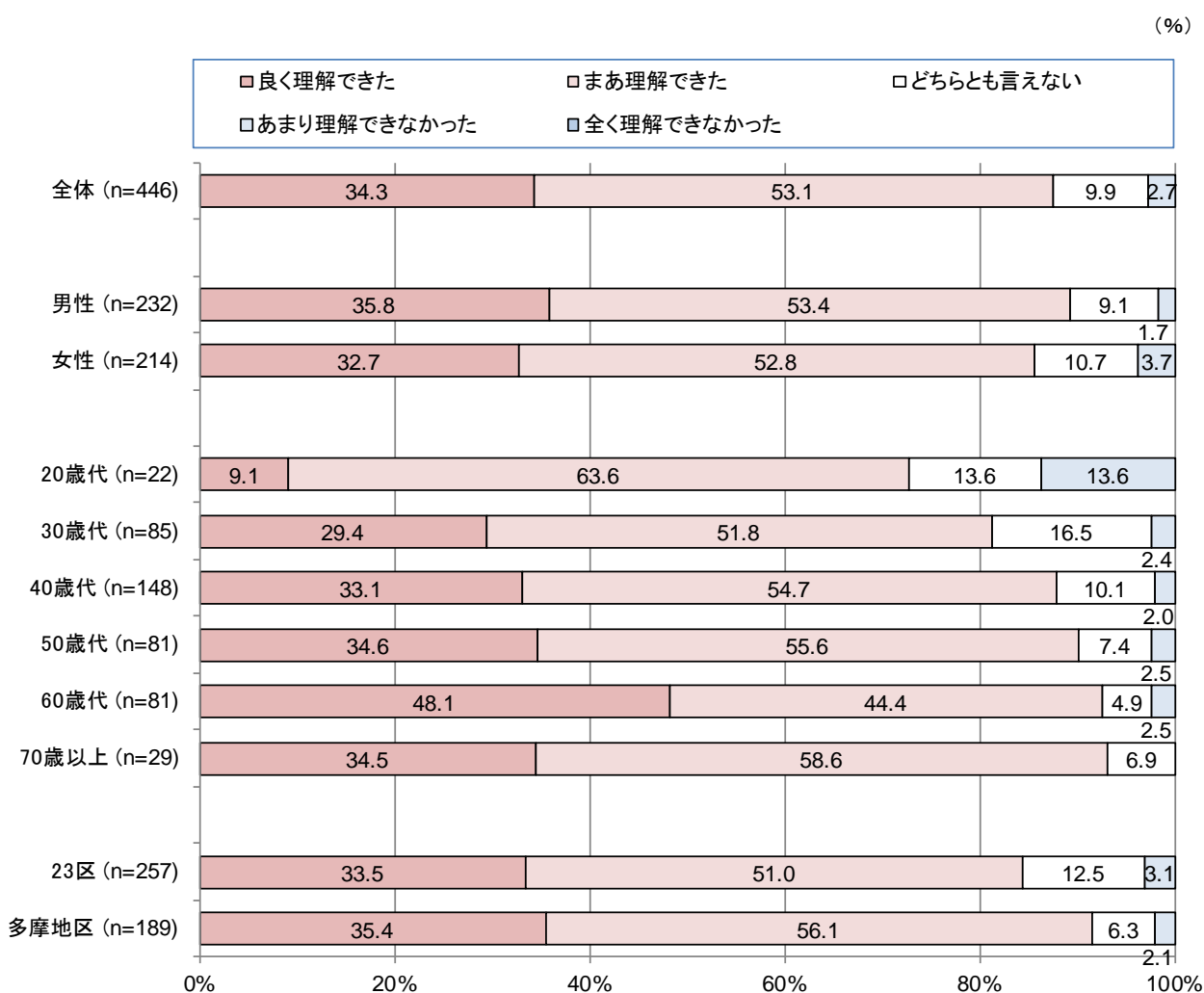
1-2-7. 浸水対策の取組の理解度 (7. 雨水浸透ますの設置)

- ◆ 浸水対策の取組の理解度「雨水浸透ますの設置」については、「良く理解できた」が34.3%、「まあ理解できた」が53.1%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別でみると、【理解度】※は年代が大きくなるにつれて増加する傾向がみられた。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q6. 浸水対策のイメージと具体策をご覧いただき、以下に示す各取組について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。(単一回答)

【7. 雨水浸透ますの設置】

図表 1-2-7 浸水対策の取組の理解度 (雨水浸透ますの設置)



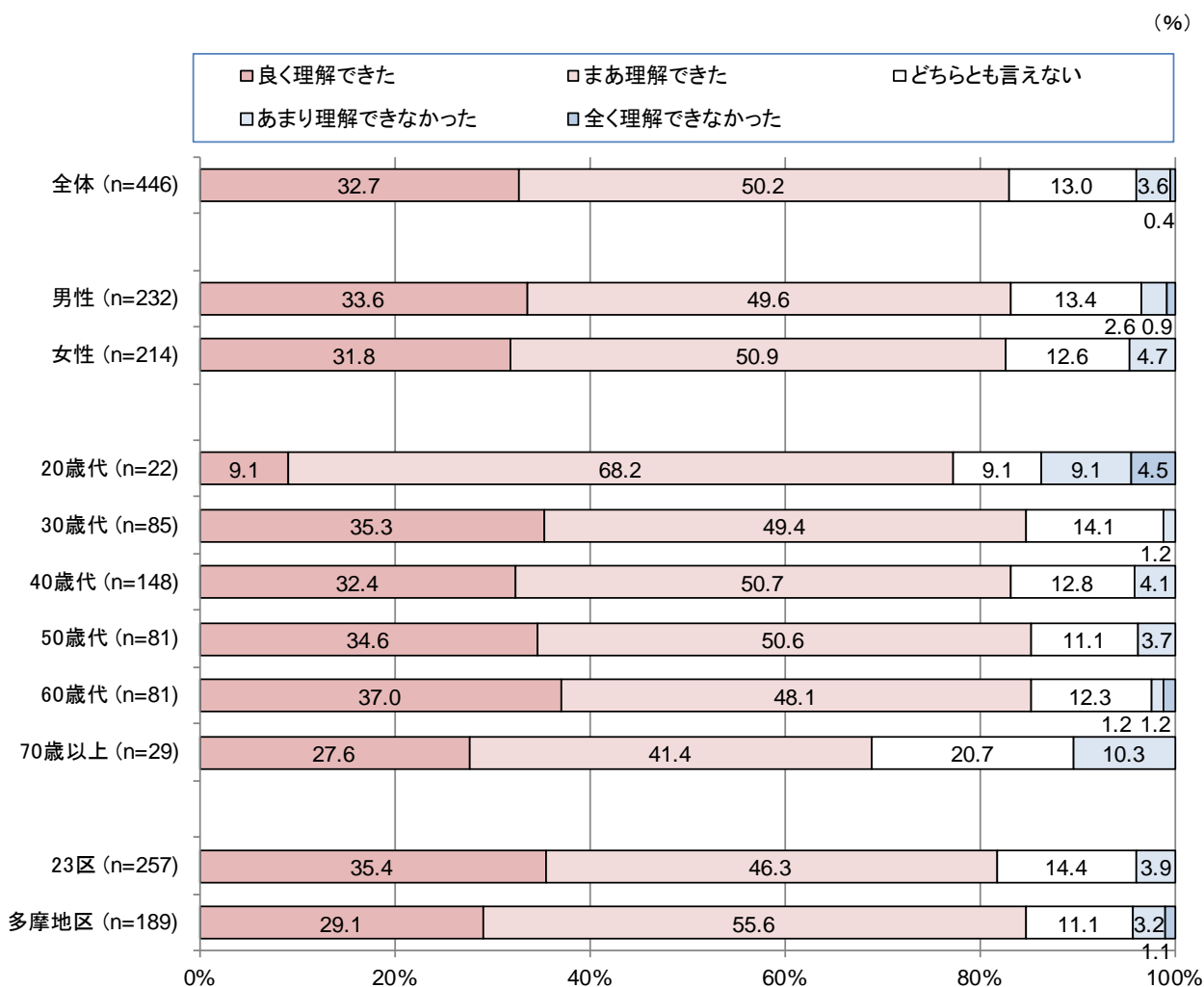
1-2-8. 浸水対策の取組の理解度 (8. 浸水予想区域図の公表)

- ◆ 浸水対策の取組の理解度「浸水予想区域図の公表」については、「良く理解できた」が32.7%、「まあ理解できた」が50.2%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別でみると、【理解度】※は20歳代が全体平均より5.6ポイント、70歳以上が13.9ポイント低くなった。
- ◆ 地域別では、多摩地区の「まあ理解できた」が全体平均より50.4ポイント高くなった。

Q6. 浸水対策のイメージと具体策をご覧いただき、以下に示す各取組について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。(単一回答)

【8. 浸水予想区域図の公表】

図表 1-2-8 浸水対策の取組の理解度 (浸水予想区域図の公表)



1-2-9. 浸水対策の取組の理解度 (9. 地下室・半地下室における注意喚起)

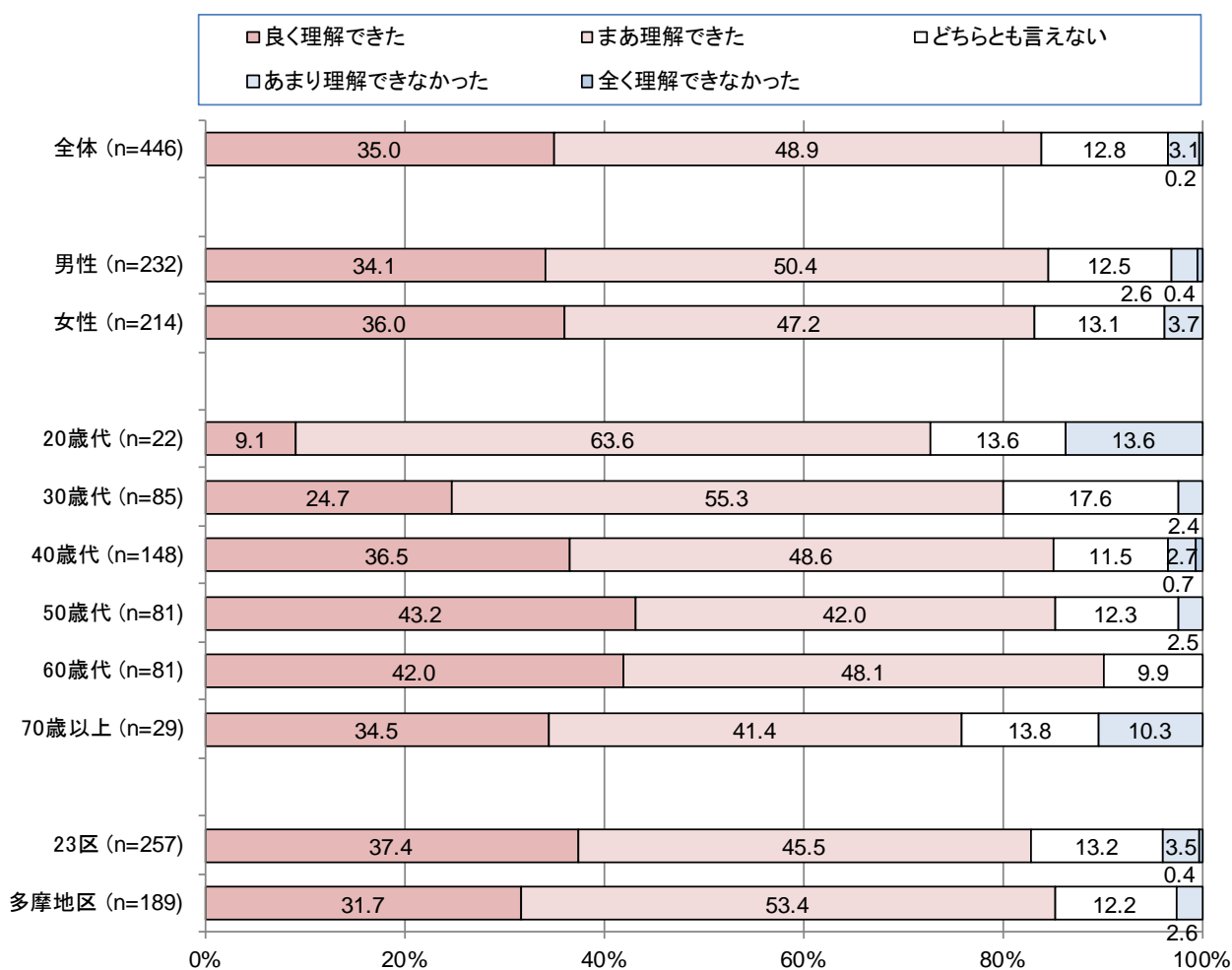
- ◆ 浸水対策の取組の理解度「地下室・半地下室における注意喚起」については、「良く理解できた」が35.0%、「まあ理解できた」が48.9%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別でみると、【理解度】※は20歳代と70歳以上が全体平均よりそれぞれ11.2ポイント、8.0ポイント低くなった。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q6. 浸水対策のイメージと具体策をご覧いただき、以下に示す各取組について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。(単一回答)

【9. 地下室・半地下室における注意喚起】

図表 1-2-9 浸水対策の取組の理解度 (地下室・半地下室における注意喚起)

(%)



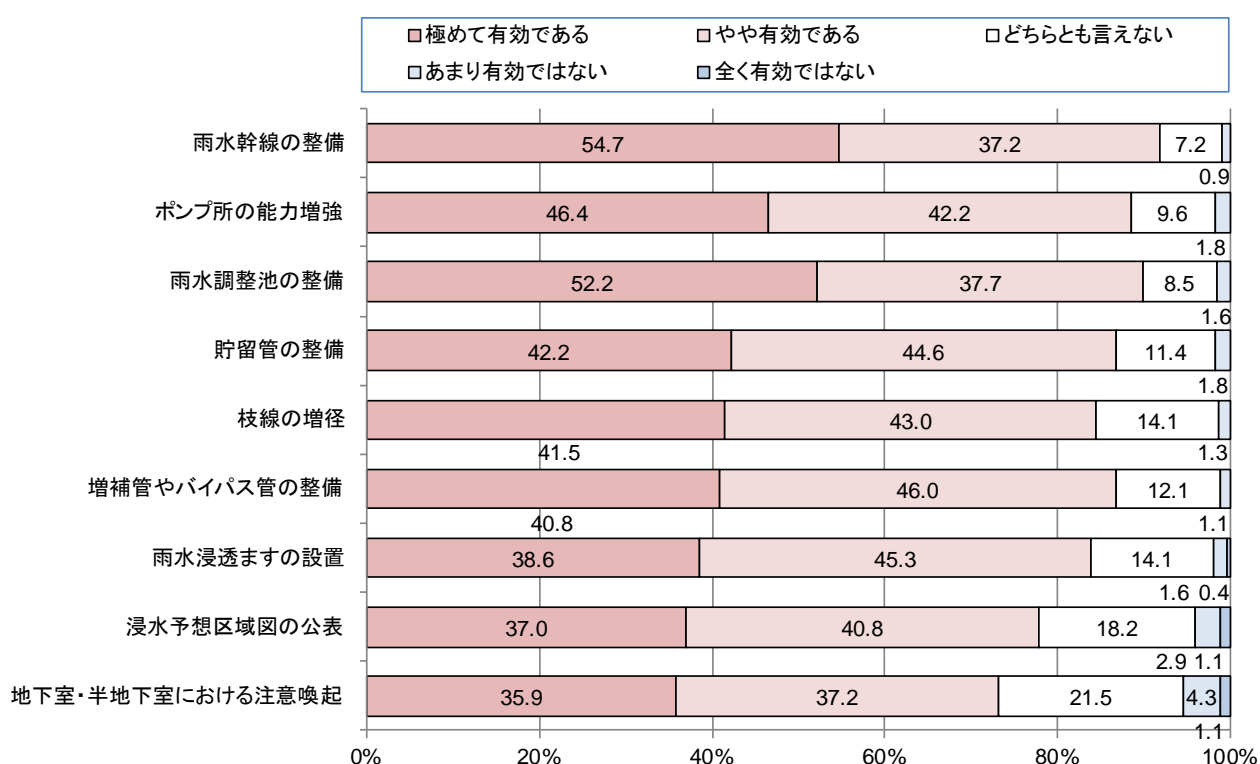
1-3. 浸水対策の取組の有効性

- ◆ 浸水対策の取組の【有効性】※については、「雨水幹線の整備」が91.9%と最も多く、次いで「雨水調整池の整備」が89.9%、「ポンプ所の能力増強」が88.6%であった。
- ◆ 一方で、「地下室・半地下室における注意喚起」は73.1%で最も少なかった。

Q7. 上記Q6と同様に、以下に示す各取組について、浸水被害の軽減にどれほど有効であるか、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

図表 1-3 浸水対策の取組の有効性 (全体)

(%)



※ 浸水対策の取組について、「極めて有効である」と「やや有効である」の回答を合算した比率を【有効性】、「あまり有効ではない」「全く有効ではない」の回答を合算した比率を【非有効性】と定義した。

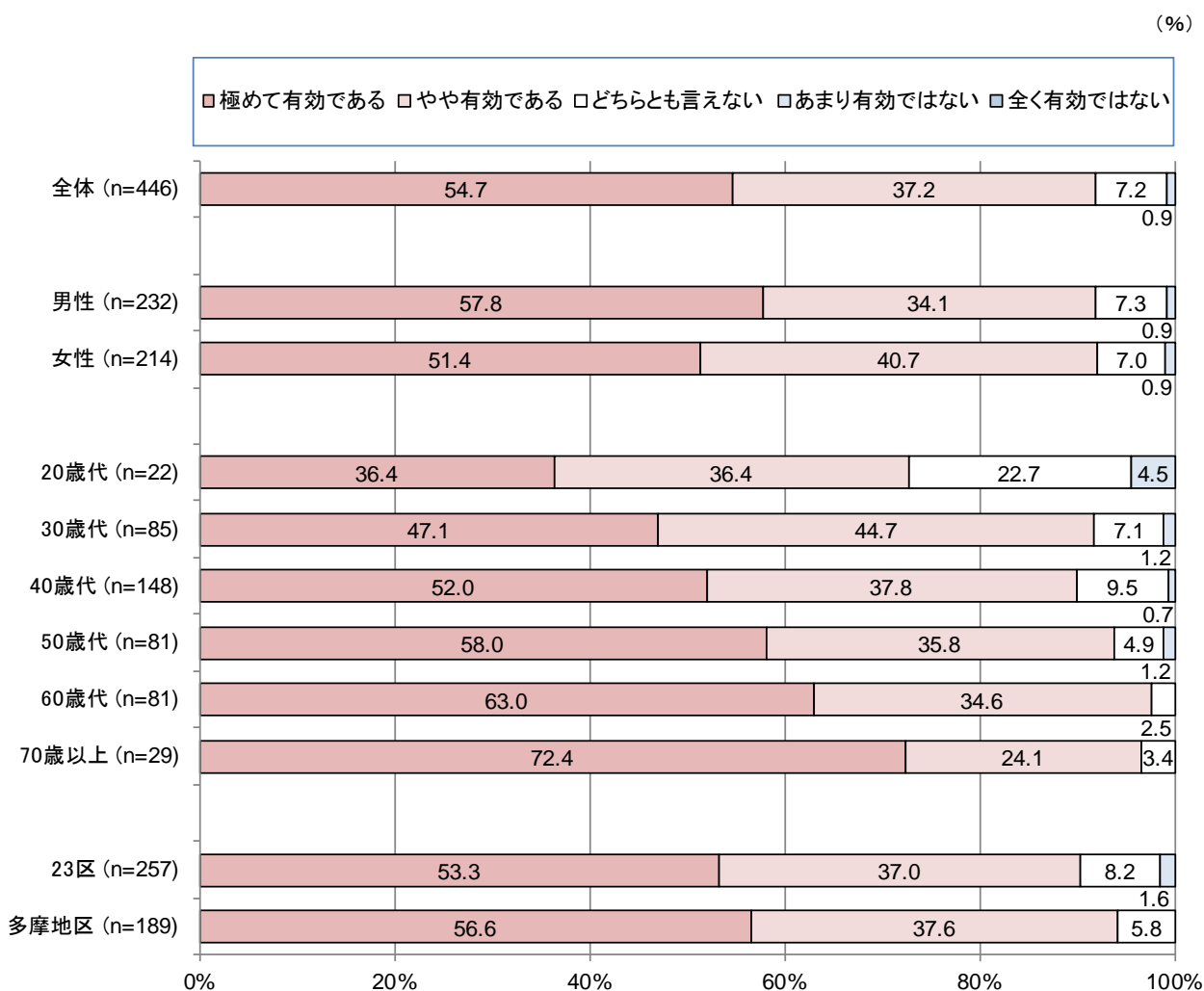
1-3-1. 浸水対策の取組の有効性 (1. 雨水幹線の整備)

- ◆ 浸水対策の取組の有効性「雨水幹線の整備」については、「極めて有効である」が54.7%、「やや有効である」が37.2%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別で見ると、「極めて有効である」は年代が大きくなるにつれ増加する傾向がみられた。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q7. 上記Q6と同様に、以下に示す各取組について、浸水被害の軽減にどれほど有効であるか、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

【1. 雨水幹線の整備】

図表 1-3-1 浸水対策の取組の有効性 (雨水幹線の整備)



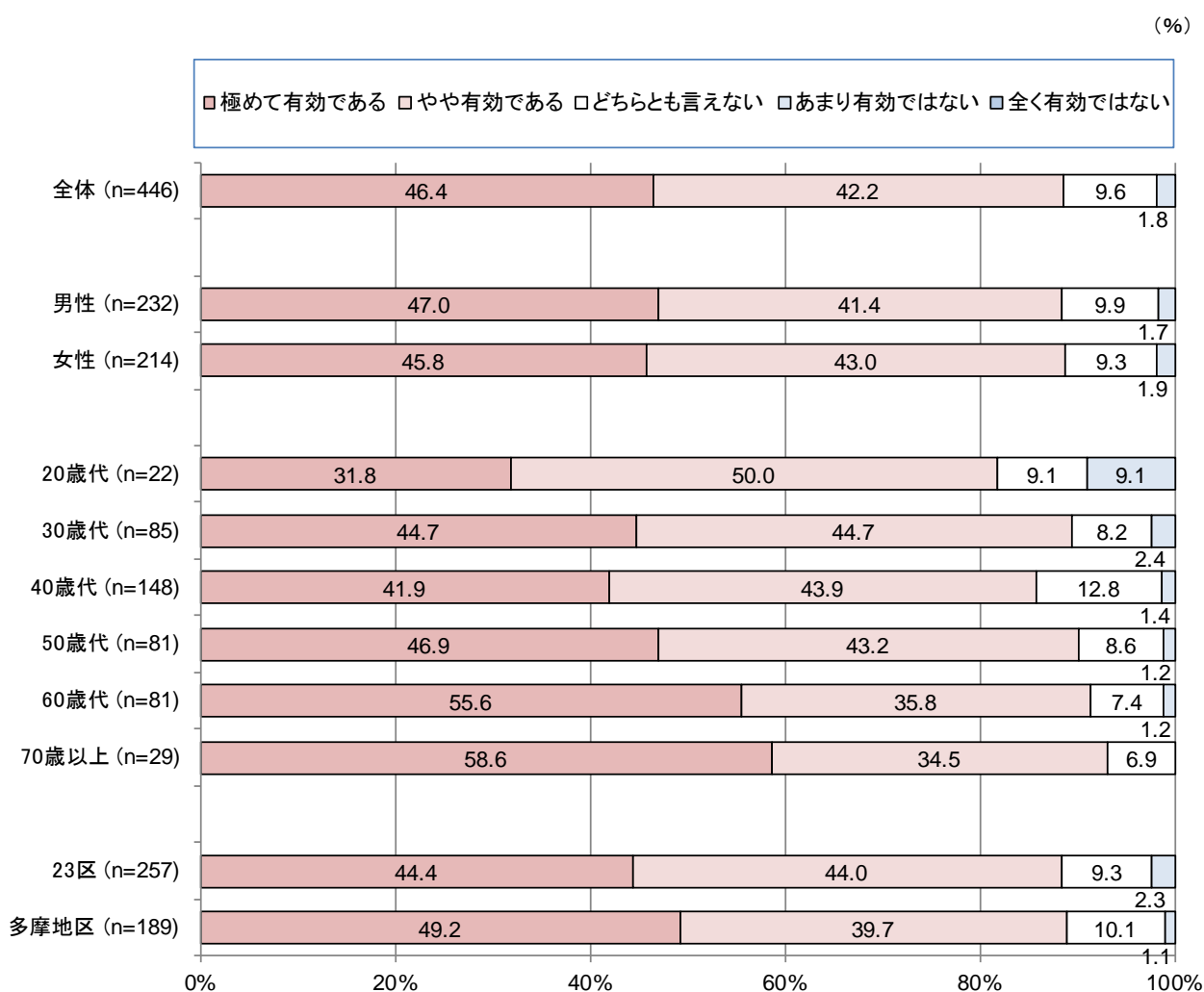
1-3-2. 浸水対策の取組の有効性 (2. ポンプ所の能力増強)

- ◆ 浸水対策の取組の有効性「ポンプ所の能力増強」については、「極めて有効である」が46.4%、「やや有効である」が42.2%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別でみると、【有効性】※は30歳代を除いて、年代が大きくなるにつれて増加する傾向がみられた。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q7. 上記Q6と同様に、以下に示す各取組について、浸水被害の軽減にどれほど有効であるか、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

【2. ポンプ所の能力増強】

図表 1-3-2 浸水対策の取組の有効性 (ポンプ所の能力増強)



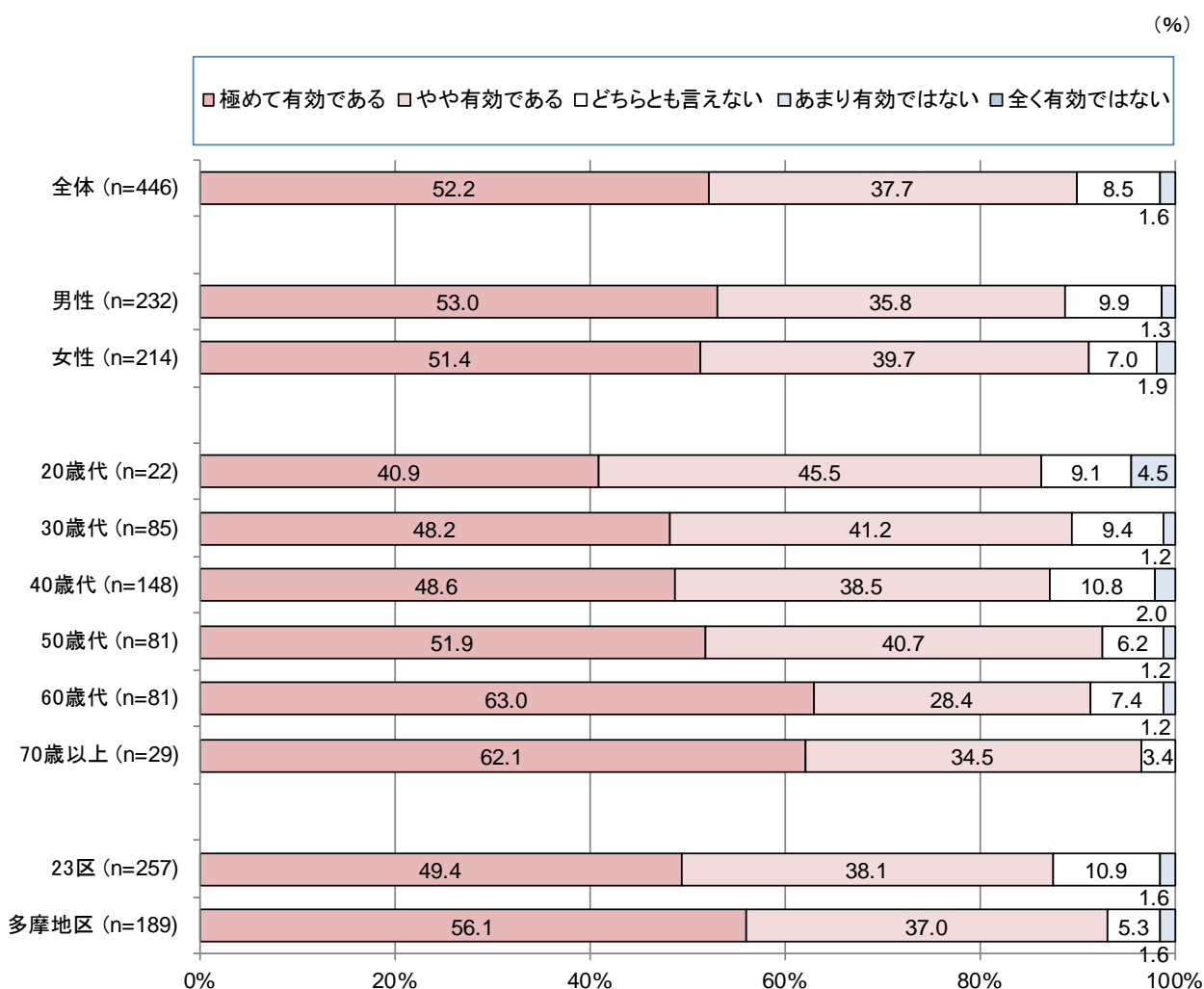
1-3-3. 浸水対策の取組の有効性 (3. 雨水調整池の整備)

- ◆ 浸水対策の取組の有効性「雨水調整池の整備」については、「極めて有効である」が52.2%、「やや有効である」が37.7%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別でみると、「極めて有効である」では20歳代が全体平均より11.3ポイント低く、60歳代と70歳以上がそれぞれ10.8ポイント、9.9ポイント高くなった。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q7. 上記Q6と同様に、以下に示す各取組について、浸水被害の軽減にどれほど有効であるか、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

【3. 雨水調整池の整備】

図表 1-3-3 浸水対策の取組の有効性 (雨水調整池の整備)



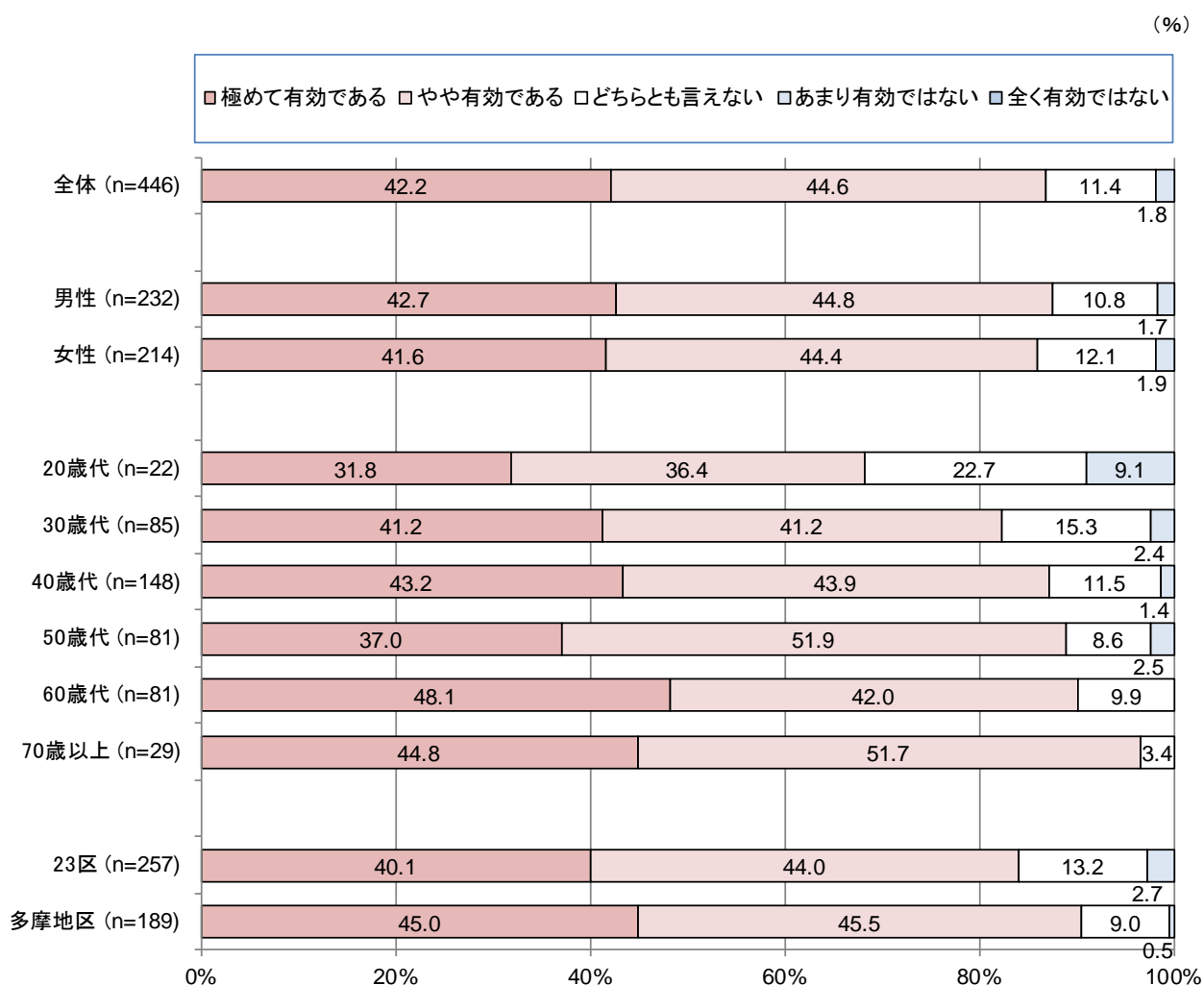
1-3-4. 浸水対策の取組の有効性 (4. 貯留管の整備)

- ◆ 浸水対策の取組の有効性「貯留管の整備」については、「極めて有効である」が42.2%、「やや有効である」が44.6%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別でみると、【有効性】※は20歳代が全体平均より18.6ポイント低く、70歳以上が9.7ポイント高くなった。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q7. 上記Q6と同様に、以下に示す各取組について、浸水被害の軽減にどれほど有効であるか、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

【4. 貯留管の整備】

図表 1-3-4 浸水対策の取組の有効性 (貯留管の整備)



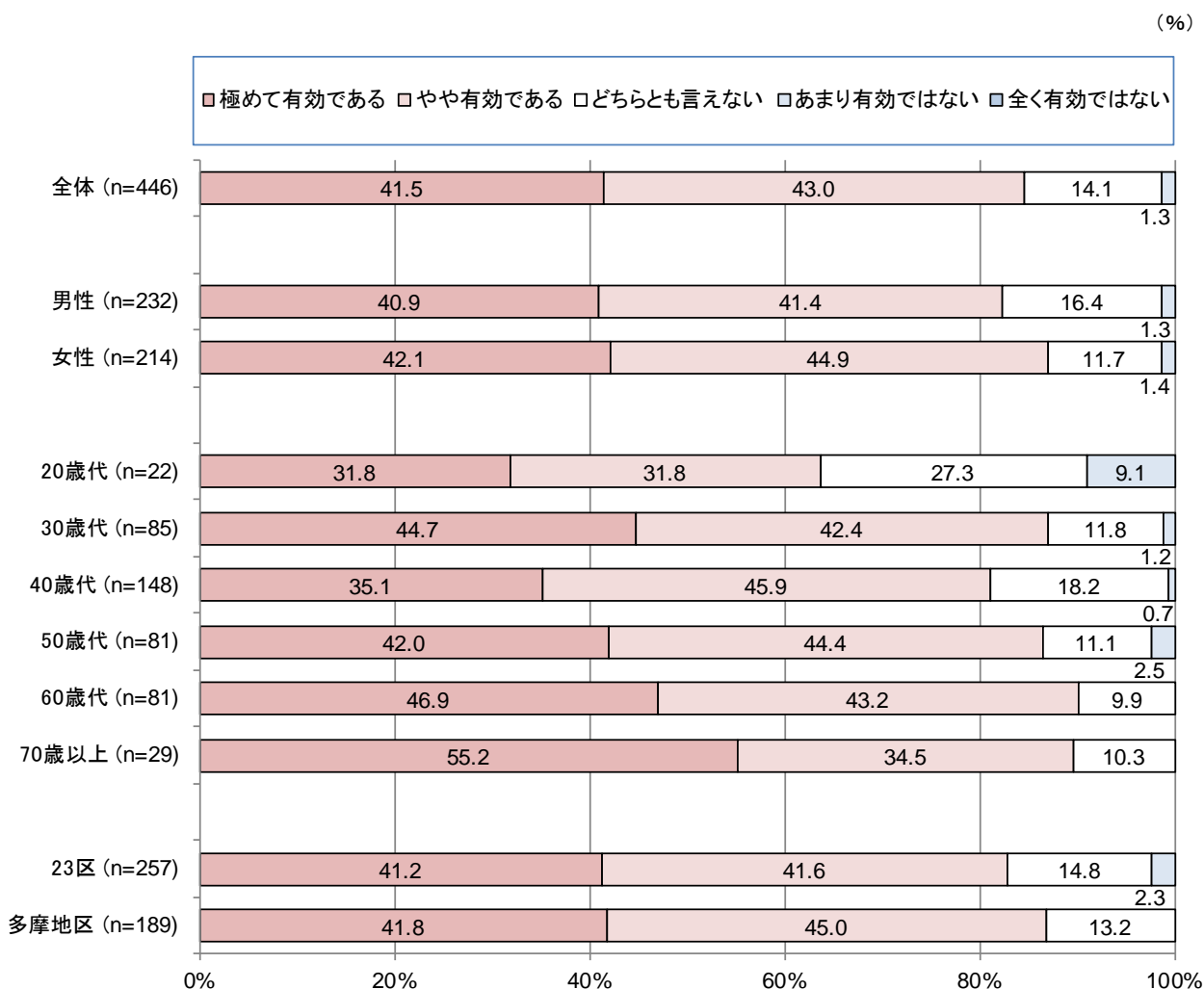
1-3-5. 浸水対策の取組の有効性 (5. 枝線の増径)

- ◆ 浸水対策の取組の有効性「枝線の増径」については、「極めて有効である」が41.5%、「やや有効である」が43.0%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別でみると、「極めて有効である」は30歳代を除いて年代が大きくなるにつれて増加する傾向がみられた。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q7. 上記Q6と同様に、以下に示す各取組について、浸水被害の軽減にどれほど有効であるか、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

【5. 枝線の増径】

図表 1-3-5 浸水対策の取組の有効性 (枝線の増径)



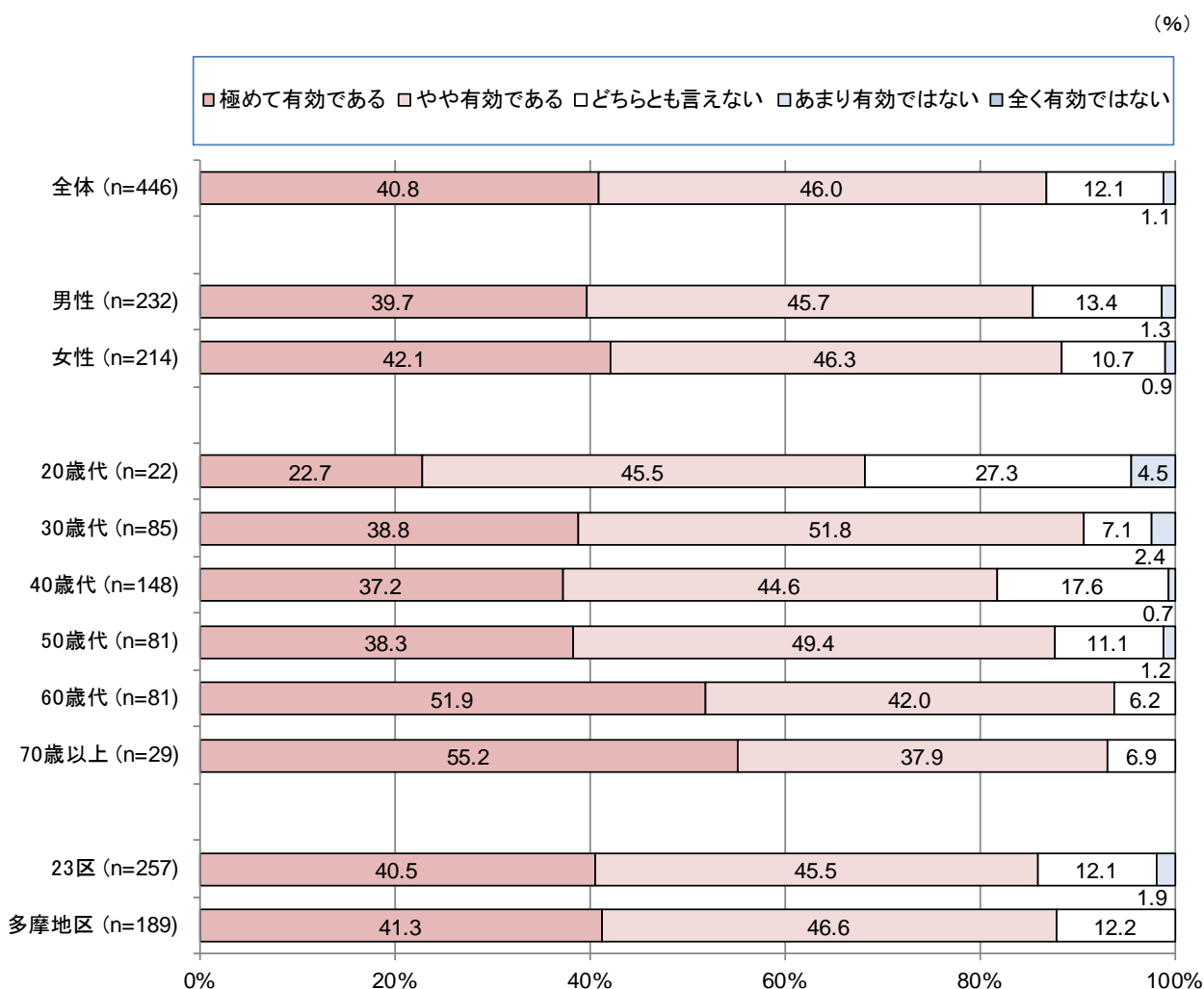
1-3-6. 浸水対策の取組の有効性 (6. 増補管やバイパス管の整備)

- ◆ 浸水対策の取組の有効性「増補管やバイパス管の整備」については、「極めて有効である」が40.8%、「やや有効である」が46.0%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別でみると、「極めて有効である」は30歳代を除いて年代が大きくなるにつれて増加する傾向がみられた。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q7. 上記Q6と同様に、以下に示す各取組について、浸水被害の軽減にどれほど有効であるか、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

【6. 増補管やバイパス管の整備】

図表 1-3-6 浸水対策の取組の有効性 (増補管やバイパス管の整備)



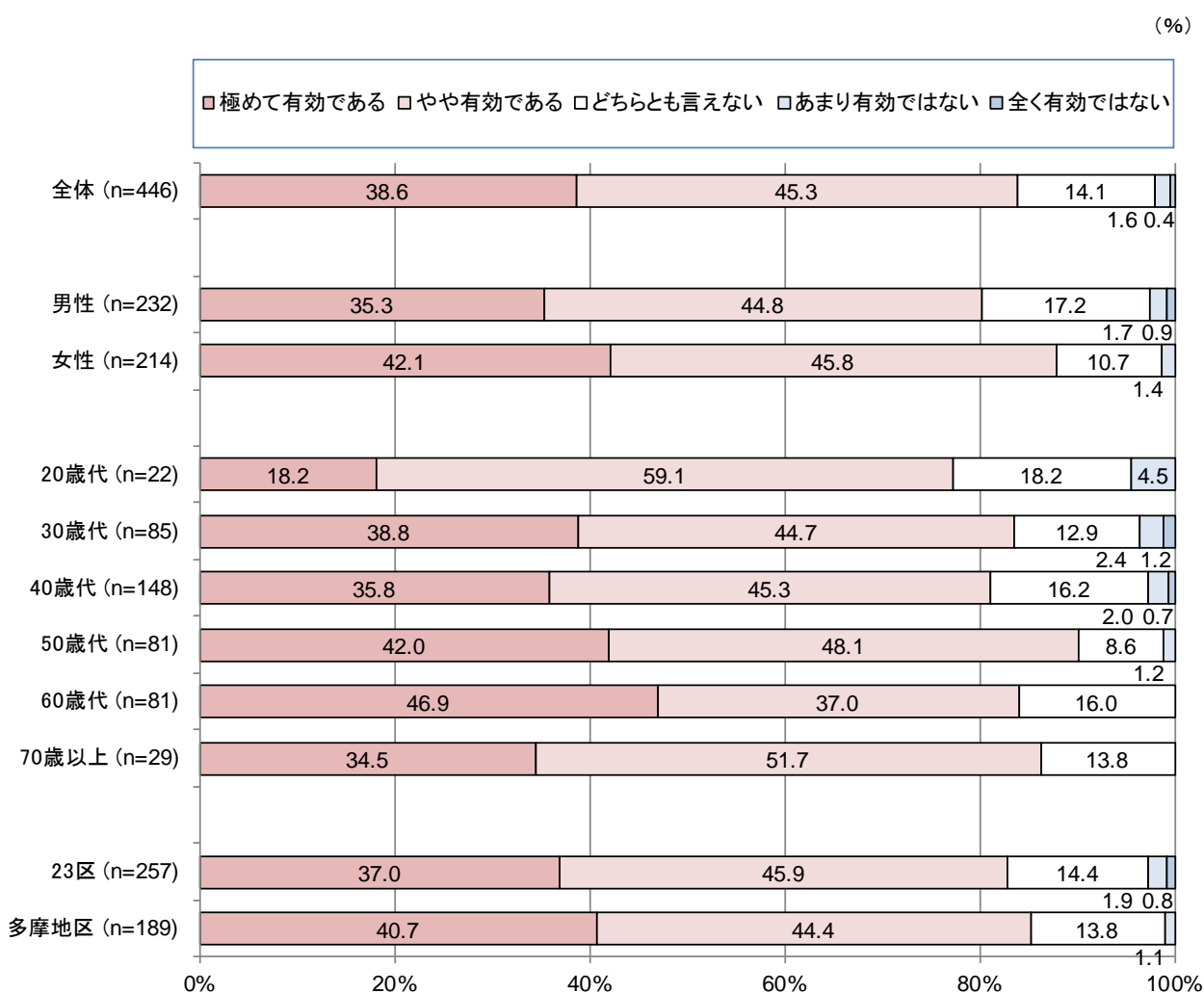
1-3-7. 浸水対策の取組の有効性 (7. 雨水浸透ますの設置)

- ◆ 浸水対策の取組の有効性「雨水浸透ますの設置」については、「極めて有効である」が38.6%、「やや有効である」が45.3%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別でみると、【有効性】※は50歳代が90.1%と最も多く、20歳代が77.3%と最も少なくなった。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q7. 上記Q6と同様に、以下に示す各取組について、浸水被害の軽減にどれほど有効であるか、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

【7. 雨水浸透ますの設置】

図表 1-3-7 浸水対策の取組の有効性 (雨水浸透ますの設置)



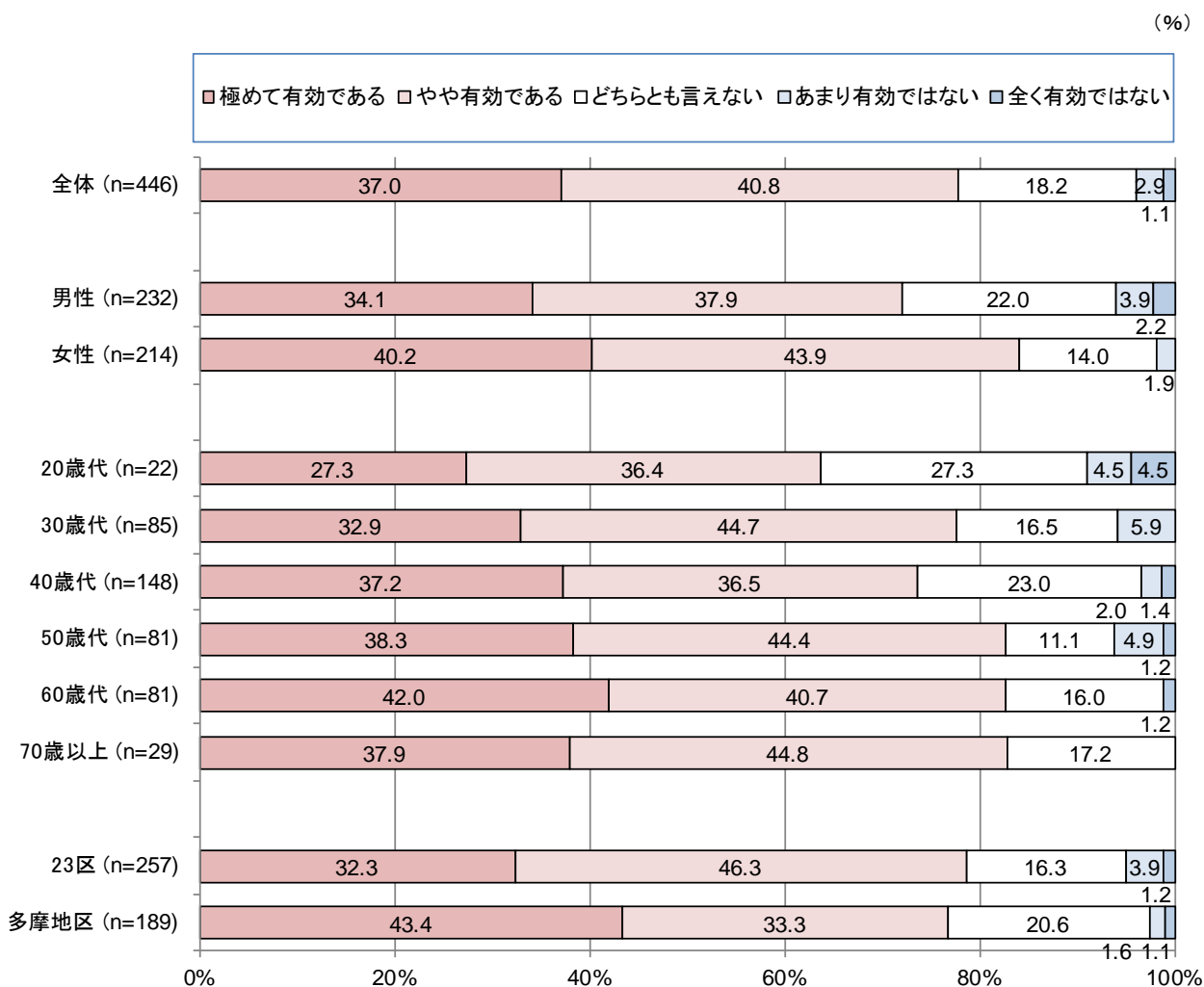
1-3-8. 浸水対策の取組の有効性 (8. 浸水予想区域図の公表)

- ◆ 浸水対策の取組の有効性「浸水予想区域図の公表」については、「極めて有効である」が37.0%、「やや有効である」が40.8%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別で見ると、【有効性】※は40歳代を除いて年齢が大きくなるにつれて増加する傾向がみられた。
- ◆ 地域別で見ると、「極めて有効である」は多摩地区が全体平均より6.4ポイント高く、「やや有効である」は23区が全体平均より5.5ポイント高く、多摩地区が7.5ポイント低くなった。

Q7. 上記Q6と同様に、以下に示す各取組について、浸水被害の軽減にどれほど有効であるか、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

【8. 浸水予想区域図の公表】

図表 1-3-8 浸水対策の取組の有効性 (浸水予想区域図の公表)



1-3-9. 浸水対策の取組の有効性 (9. 地下室・半地下室における注意喚起)

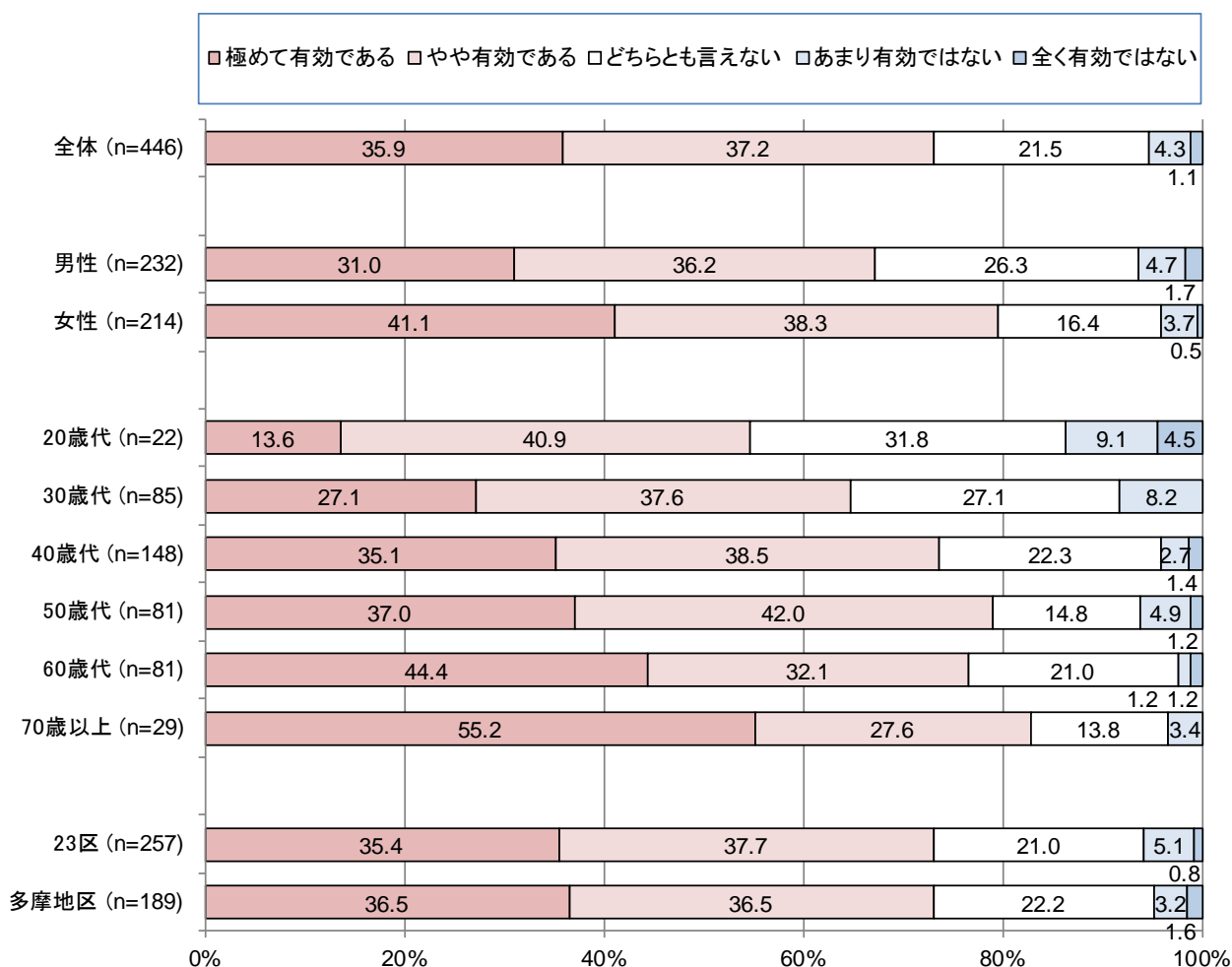
- ◆ 浸水対策の取組の有効性「地下室・半地下室における注意喚起」については、「極めて有効である」が35.9%、「やや有効である」が37.2%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別でみると、【有効性】※は50歳代を除いて年齢が大きくなるにつれて増加する傾向がみられた。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q7. 上記Q6と同様に、以下に示す各取組について、浸水被害の軽減にどれほど有効であるか、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

【9. 地下室・半地下室における注意喚起】

図表 1-3-9 浸水対策の取組の有効性 (地下室・半地下室における注意喚起)

(%)

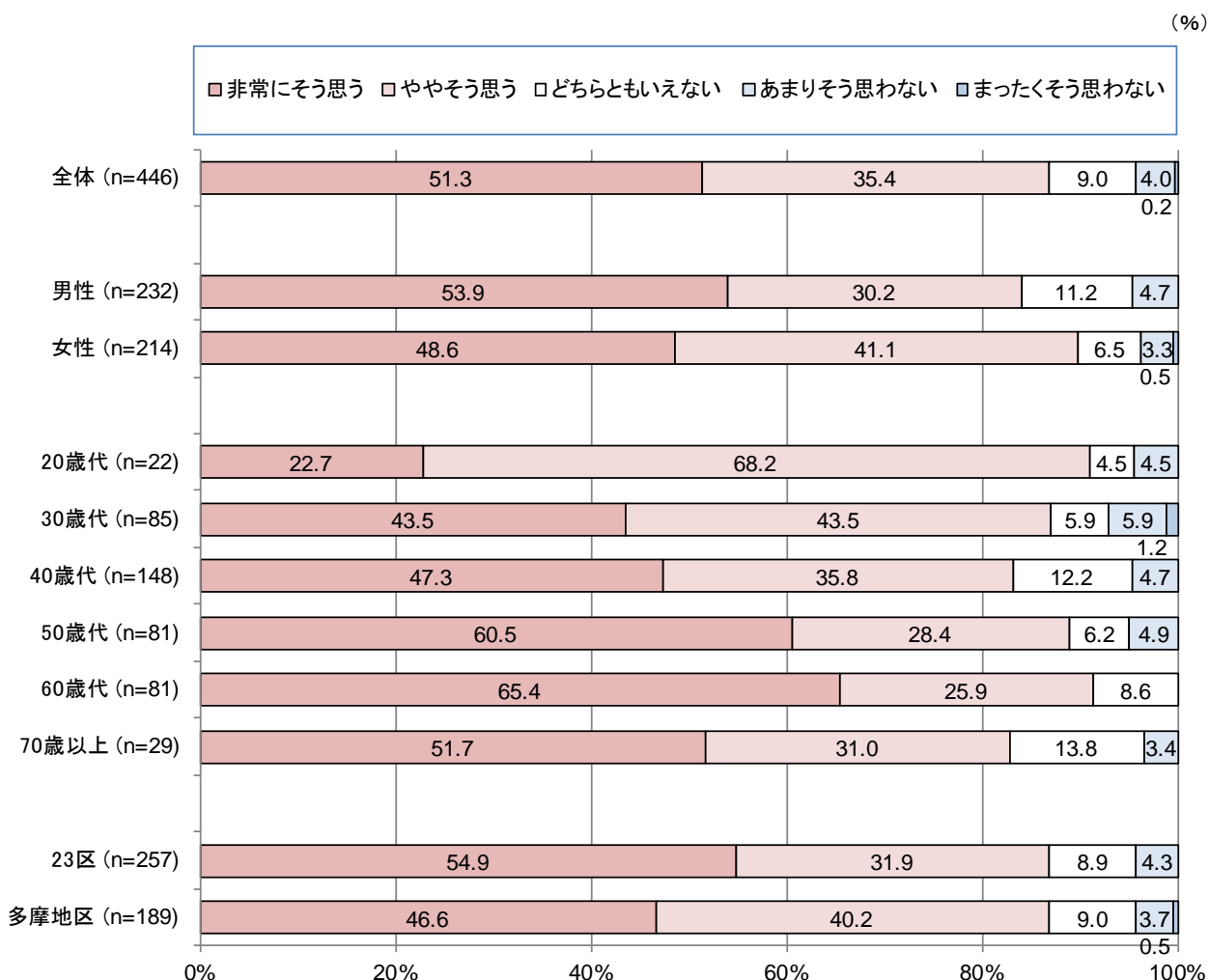


1-4. 整備水準のレベルアップ対応

- ◆ 整備水準のレベルアップ対応については、「非常にそう思う」が51.3%、「ややそう思う」が35.4%と合わせて【そう思う】*が86.7%であった。
- ◆ 男女別で見ると、【そう思う】*では、女性が男性より5.6ポイント高く、「非常にそう思う」では、男性が女性に比べて5.3ポイント高かった。
- ◆ 年代別で見ると、50歳代と60歳代では「非常にそう思う」が6割を超えて多くなった。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q8 東京都下水道局では、区部全域で1時間50mmの降雨に対して浸水被害の解消を図る取組を行っていますが、平成25年度においても、東京都区部において、下表のような浸水被害が発生しています。あなたは、浸水対策において、整備水準のレベルアップを含めた対応が必要だと思いますか？以下の中から該当する選択肢を一つだけお答え下さい（単一回答）。

図表1-4 整備水準のレベルアップ対応



※ 整備水準のレベルアップ対応について、「非常にそう思う」と「ややそう思う」の回答を合算した比率を【そう思う】、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」の回答を合算した比率を【そう思わない】と定義した。

1-5. 「豪雨対策下水道緊急プラン」の認知度

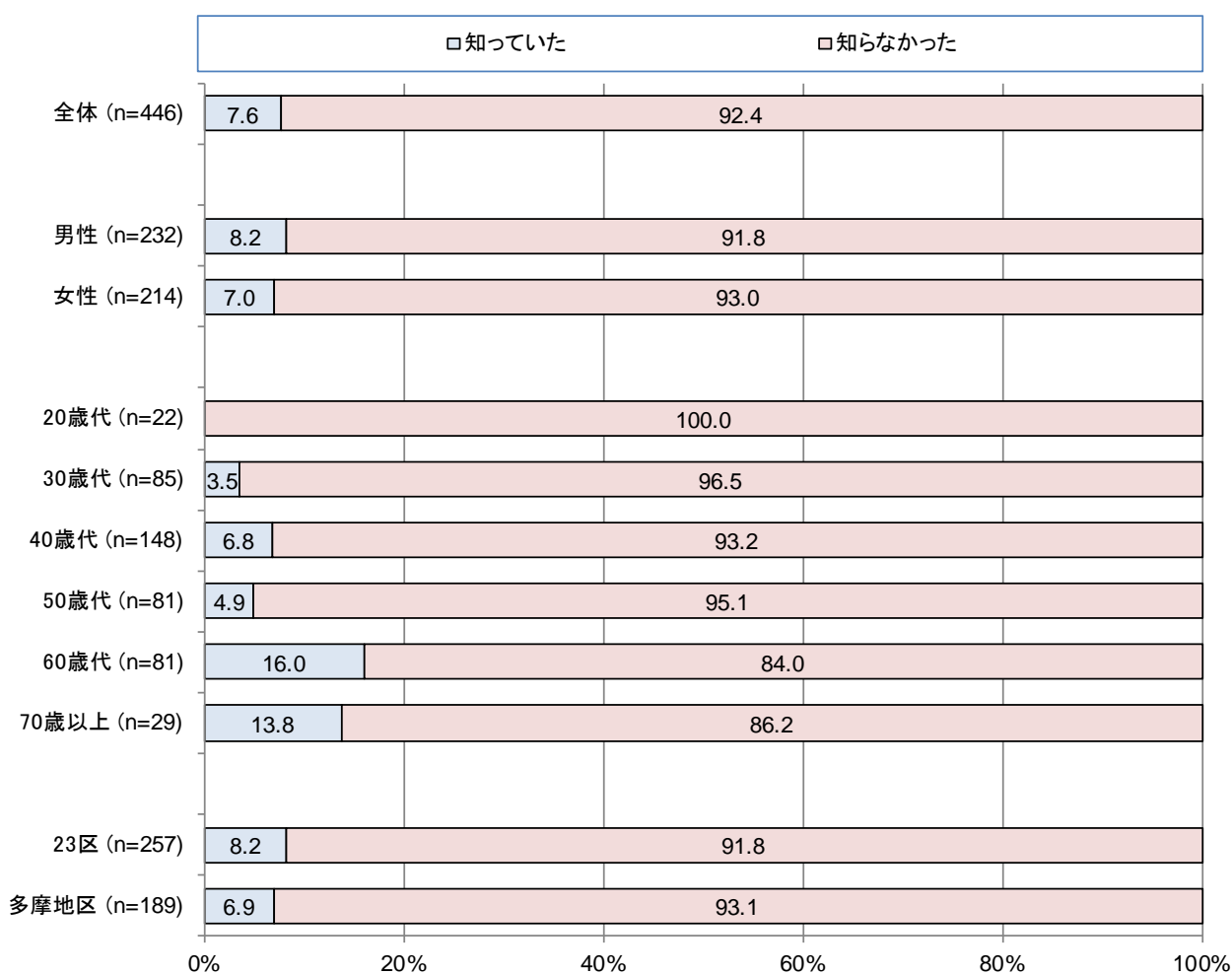
- ◆ 「豪雨対策下水道緊急プラン」の認知度については、「知っていた」が7.6%、「知らなかった」が92.4%であった。
- ◆ 男女別では、大きな差はみられなかった。
- ◆ 年代別でみると、60歳代と70歳以上で「知っていた」が1割以上を占めていた。
- ◆ 地域別では、大きな差はみられなかった。

Q9. 東京都下水道局では、平成25年の局地的集中豪雨や台風により、甚大な浸水被害が生じたことから、雨水整備水準のレベルアップを含む検討を進めてきました。

平成25年12月、豪雨による浸水被害の軽減を目指して「豪雨対策下水道緊急プラン」を策定しました。あなたは、このプランを知っていましたか？以下の中から該当する選択肢を一つだけお答え下さい（単一回答）。

図表1-5 「豪雨対策下水道緊急プラン」の認知度

(%)



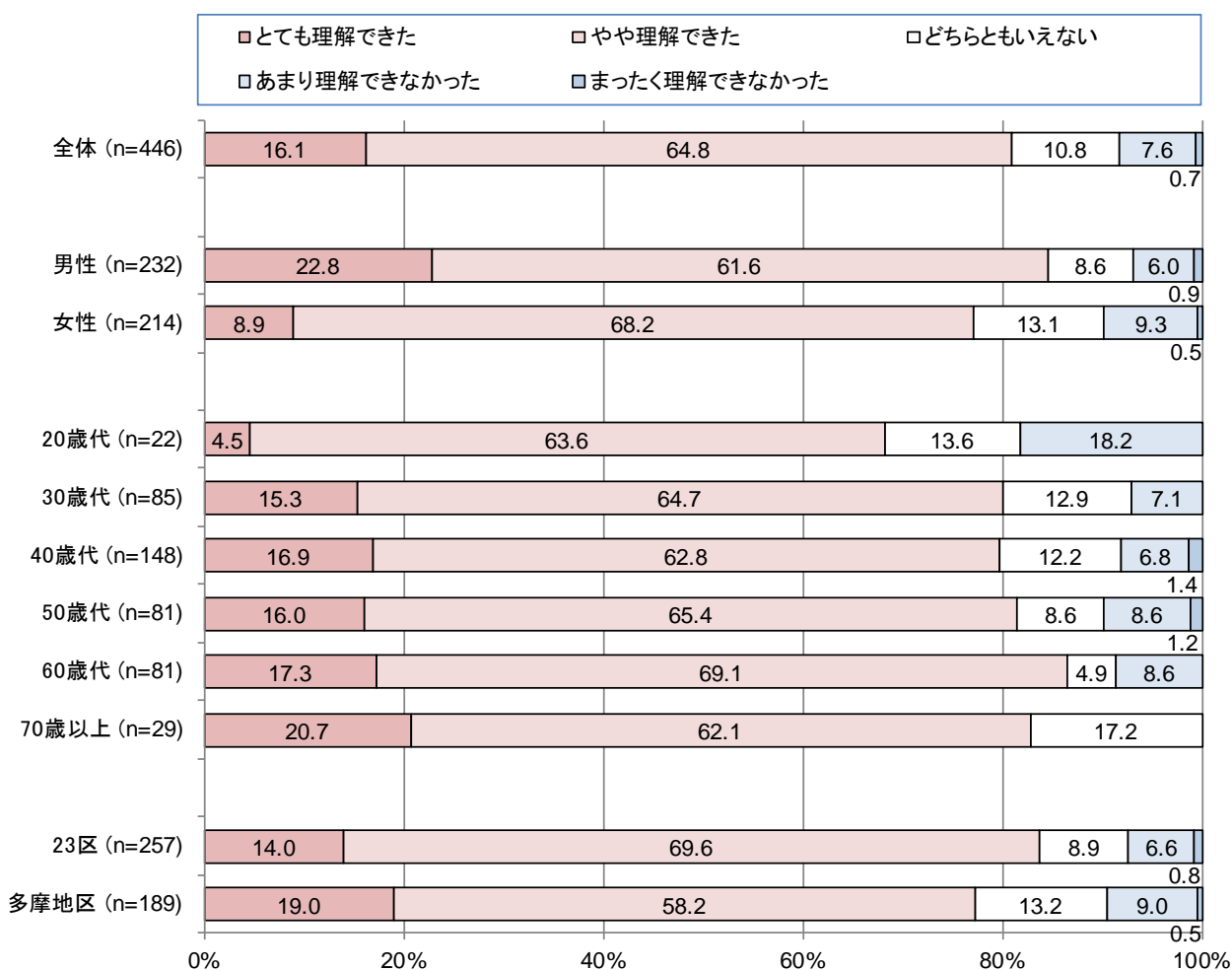
1-6. 「豪雨対策下水道緊急プラン」の理解度

- ◆ 「豪雨対策下水道緊急プラン」の理解度について、「とても理解できた」が16.1%、「やや理解できた」が64.8%と【理解度】※が80.9%であった。
- ◆ 男女別で見ると、「とても理解できた」では男性が22.8%、女性が8.9%と男性の方が13.9ポイント高くなった。
- ◆ 年代別で見ると、20歳代の【理解度】※は全体平均より12.8ポイント低くなった。
- ◆ 地域別で見ると、多摩地区の「やや理解できた」は全体平均より6.6ポイント低くなった。

Q10. 「豪雨対策下水道緊急プラン」について、概要版を示します。あなたは、このプランを理解できましたか？以下の中から該当する選択肢を一つだけお答え下さい（単一回答）。

図表1-6 「豪雨対策下水道緊急プラン」の理解度

(%)



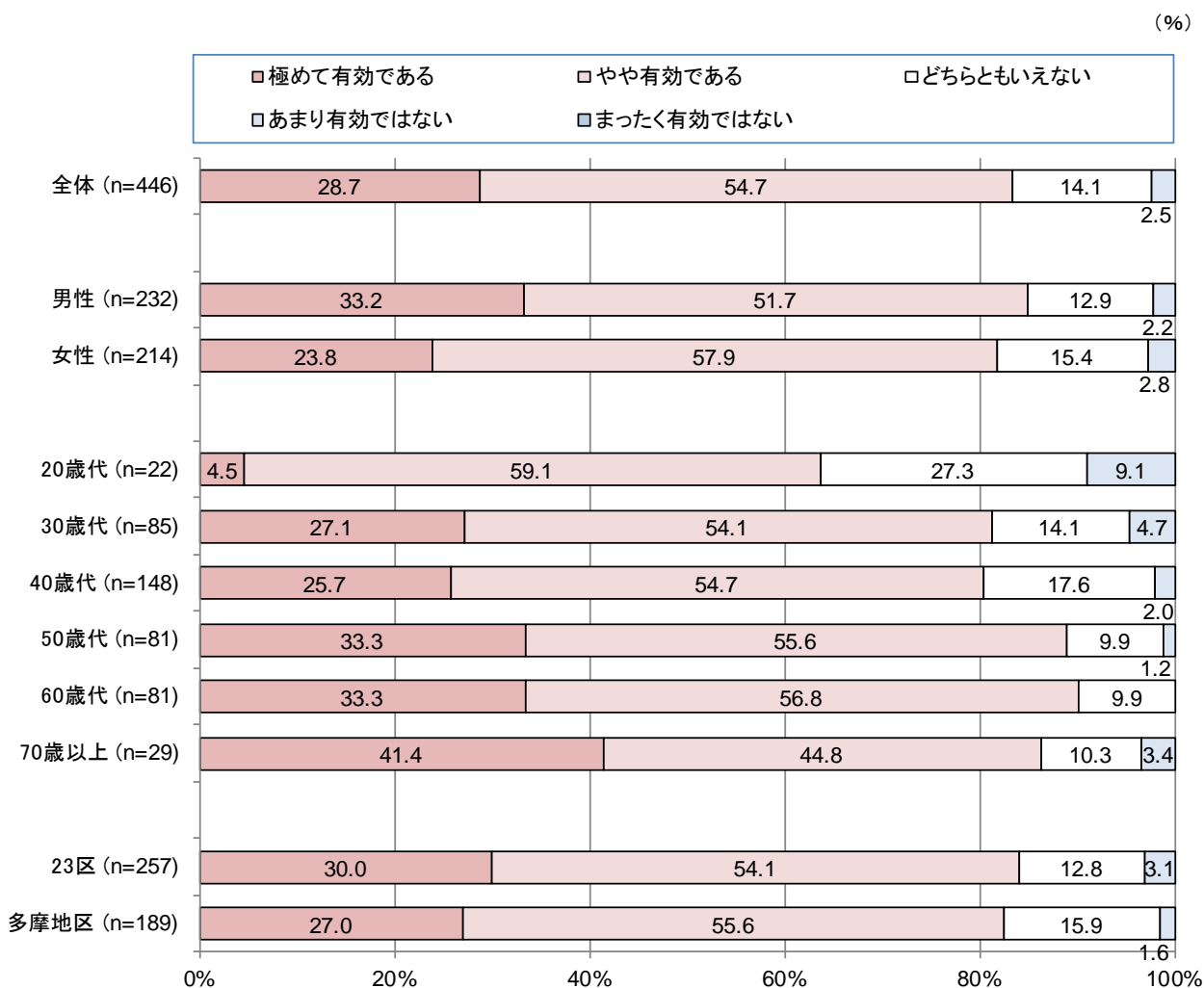
※ 「豪雨対策下水道緊急プラン」の理解度について、「とても理解できた」と「やや理解できた」の回答を合算した比率を【理解度】、「あまり理解できなかった」「まったく理解できなかった」の回答を合算した比率を【非理解度】と定義した。

1-7. 「豪雨対策下水道緊急プラン」の評価

- ◆ 「豪雨対策下水道緊急プラン」の評価については、「極めて有効である」が 28.7%、「やや有効である」が 54.7%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別で見ると、「極めて有効である」は 70 歳以上が 41.4%と最も多く、一方 20 歳代が 4.5%と最も少なかった。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q 1 1 「豪雨対策下水道緊急プラン」の概要版をご覧ください、以下の中から該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。(単一回答)

図表 1-7 「豪雨対策下水道緊急プラン」の評価



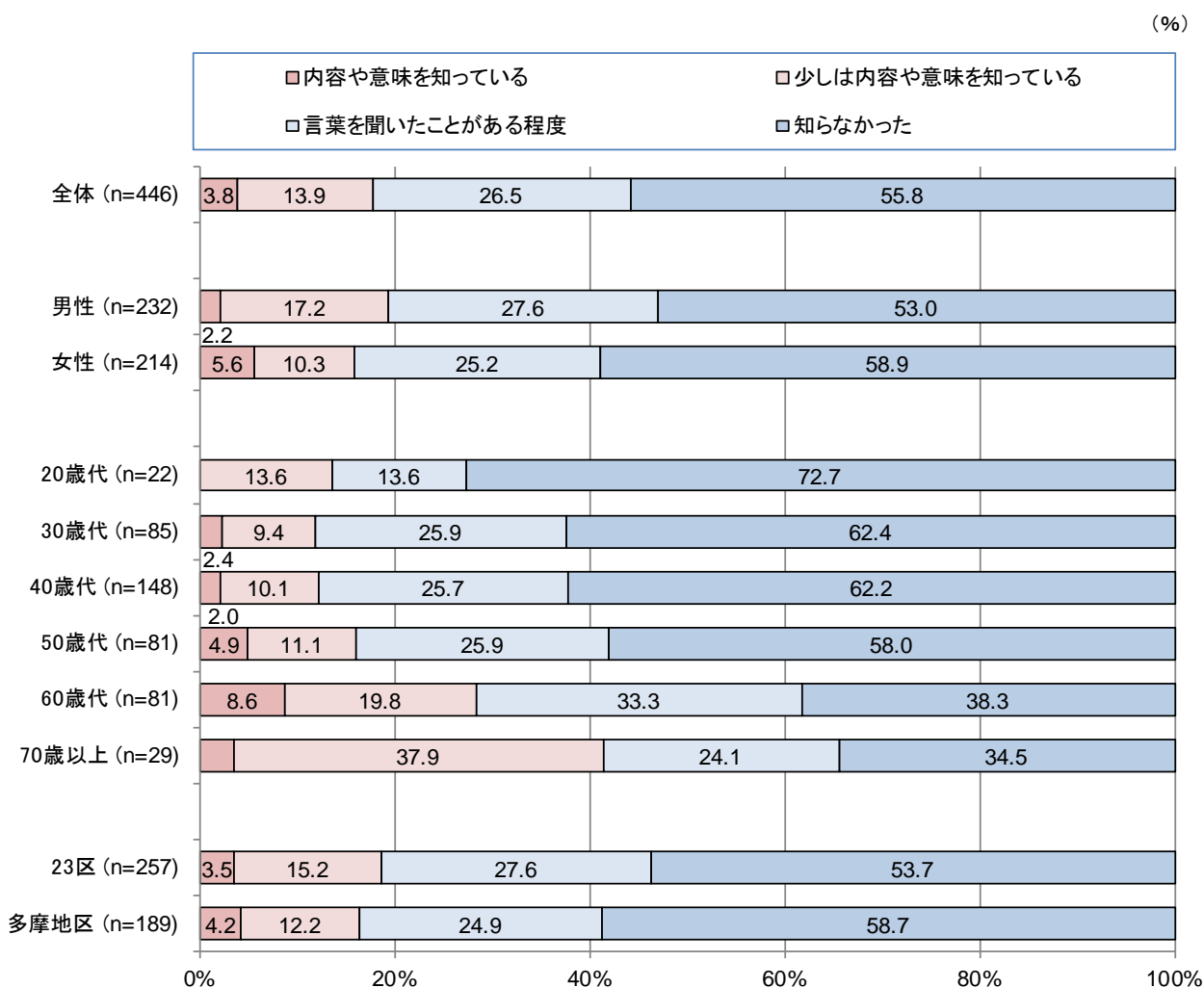
2. 家庭での浸水への対策について

2-1. 「浸水対策強化月間」の認知度

- ◆ 「浸水対策強化月間」の認知度については、「内容や意味を知っている」が 3.8%、「少しは内容や意味を知っている」が 13.9%、「言葉を聞いたことがある程度」が 26.5%と【認知度】※ が 44.2%であった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別で見ると、【認知度】※ は 20 歳代を除いて年齢が大きくなるにつれ増加する傾向がみられた。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q 1 2. あなたは、「浸水対策強化月間」についてどのくらいご存知ですか。以下の選択肢の中から該当するものを一つだけお選びください。(単一回答)

図表 2-1 「浸水対策強化月間」の認知度



※ 「浸水対策強化月間」の認知度について、「内容や意味を知っている」、「少しは内容や意味を知っている」、「言葉を聞いたことがある程度」の回答を合算した比率を【認知度】、「知らなかった」比率を【非認知度】と定義した。

2-2. 「浸水対策強化月間」の情報入手経路

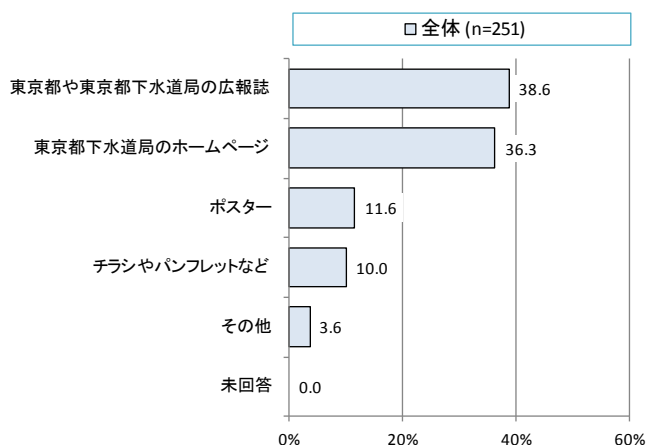
- ◆ 「浸水対策強化月間」の情報入手経路については、「東京都や東京都下水道局の広報紙」が38.6%と最も多く、次いで「東京都下水道局のホームページ」が36.3%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別でみると、50歳代と60歳代では「東京都や東京都下水道局の広報紙」が最も多く、30歳代、40歳代、70歳以上は「東京都下水道局のホームページ」が最も多くなった。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q13. 上記Q12で、「1～3」を選択した人におたずねします。

「浸水対策強化月間」をどこで知りましたか。以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお答え下さい（複数回答）。

図表2-2-1 「浸水対策強化月間」の情報入手経路（全体）

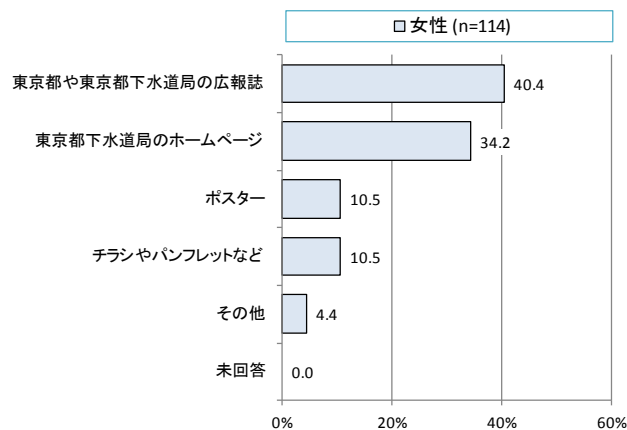
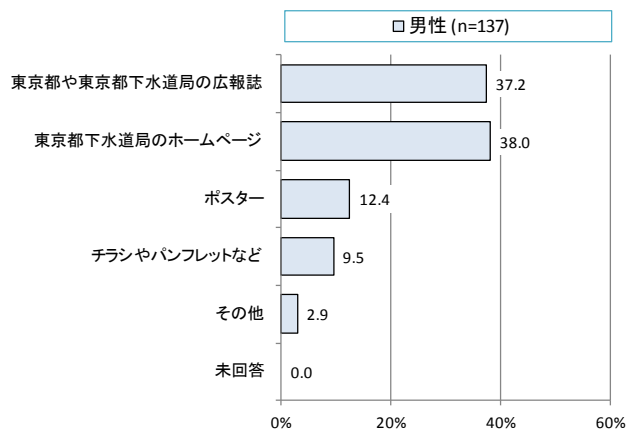
(%)



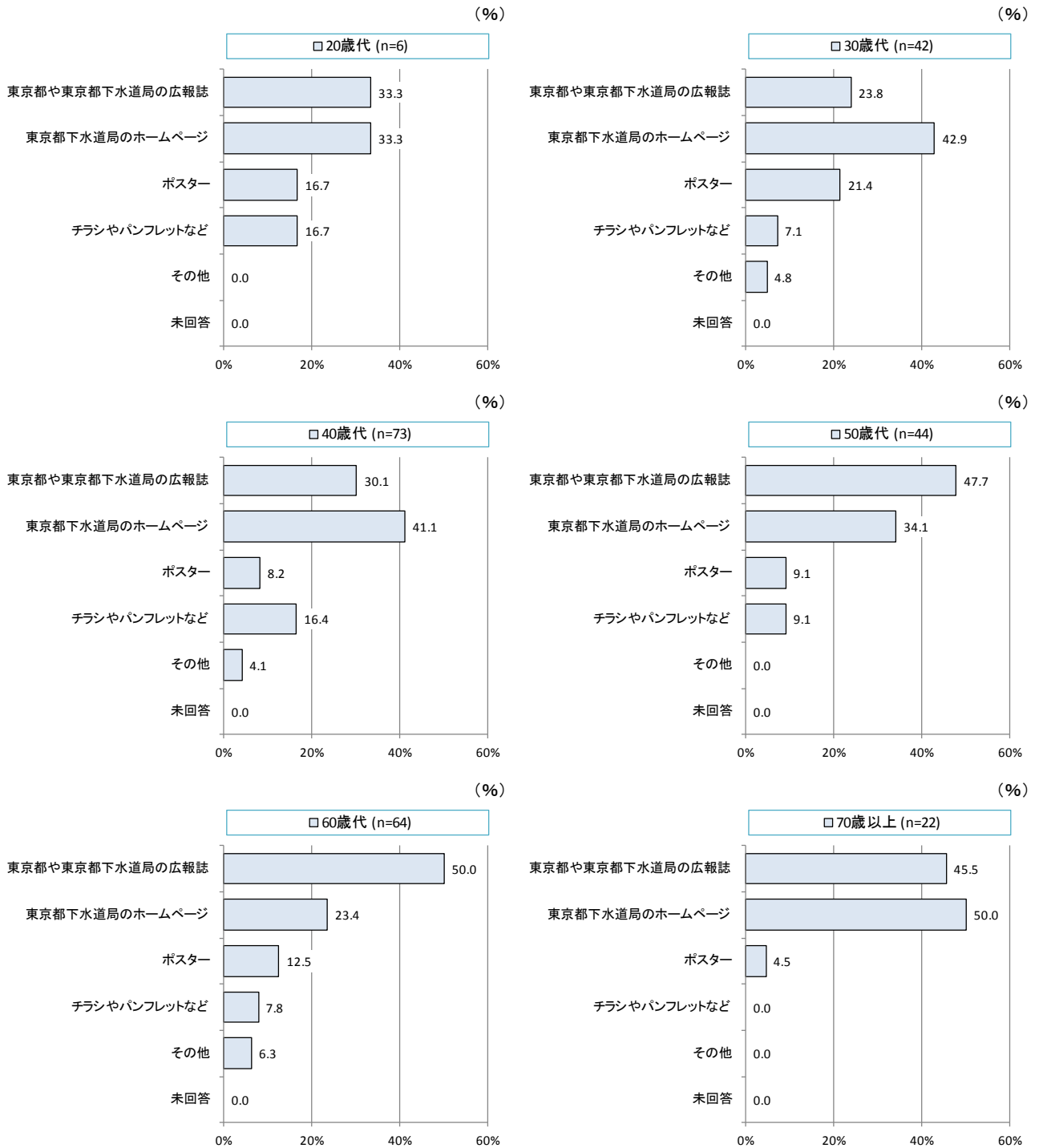
図表2-2-2 「浸水対策強化月間」の情報入手経路（性別）

(%)

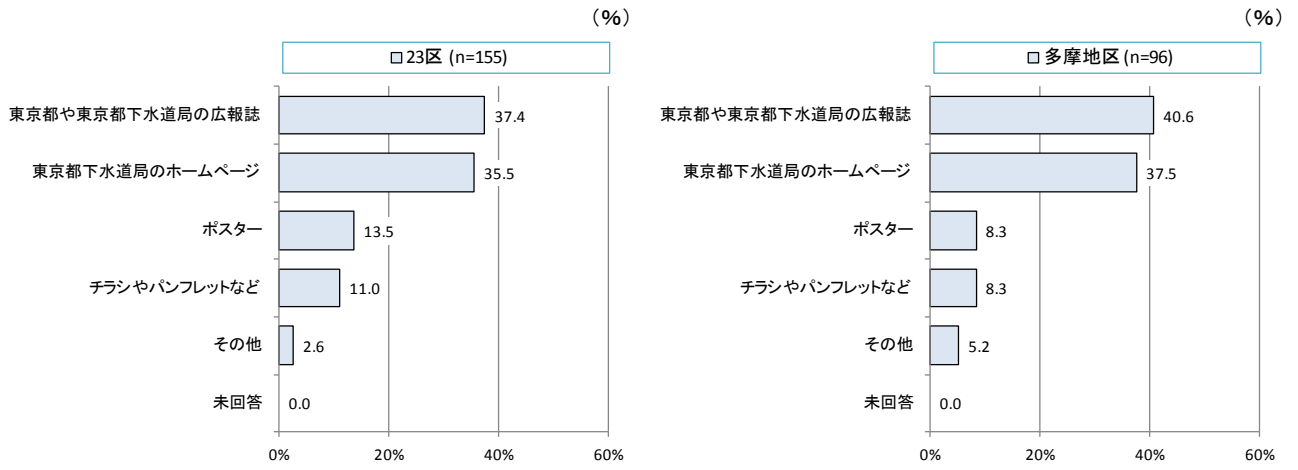
(%)



図表 2-2-3 「浸水対策強化月間」の情報入手経路（年代別）



図表 2-2-4 「浸水対策強化月間」の情報入手経路（地域別）



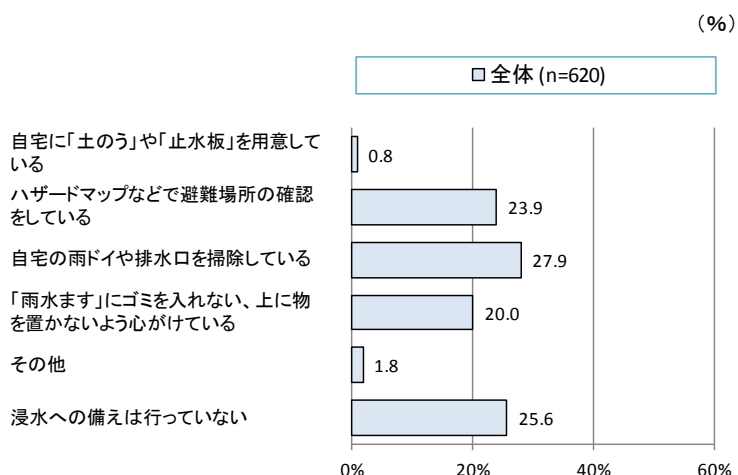
2-3. 浸水への備え

- ◆ 浸水への備えについては、「自宅の雨ドイや排水口を掃除している」が 27.9%と最も多く、次いで「浸水への備えは行っていない」が 25.6%、「ハザードマップなどで避難場所の確認をしている」が 23.9%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別で見ると、「ハザードマップなどで避難場所の確認をしている」では 30 歳代が全体より 6.5 ポイント高く、70 歳以上が 10.7 ポイント低くなっており、「自宅の雨ドイや排水口を掃除している」では 30 歳代が全体よりも 7.9 ポイント低く、70 歳以上が 11.6 ポイント高くなった。また、「浸水への備えは行っていない」は 20 歳代が 48.0%と最も多くなった。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

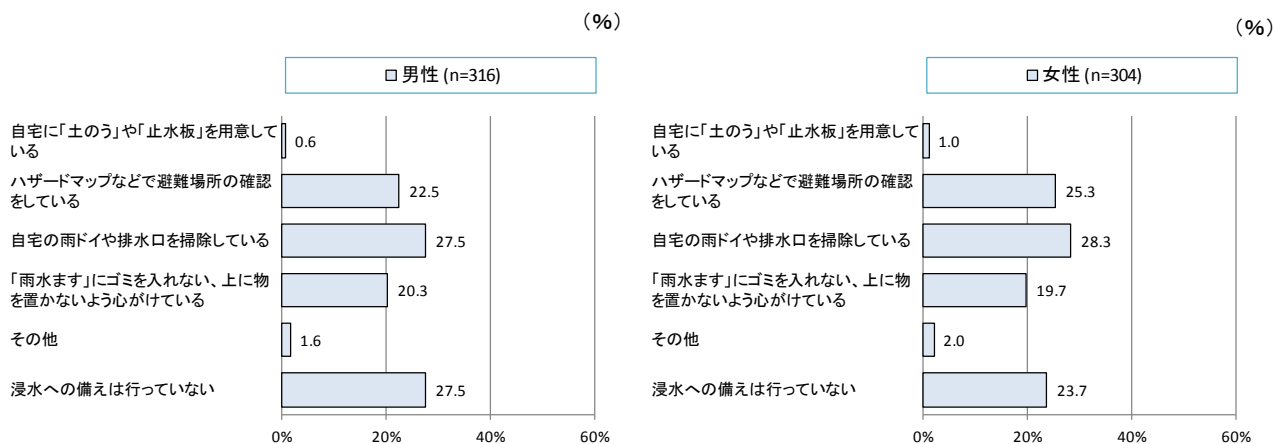
Q14. 次に「浸水への備え」についておうかがいします。

次の中で、あなたが日頃から行っている「浸水への備え」はありますか。以下の選択肢のうち、「1～5」については該当するものをいくつでもお答え下さい（複数回答）。「1～5」で該当するものがない場合は、「6」をお選びください。

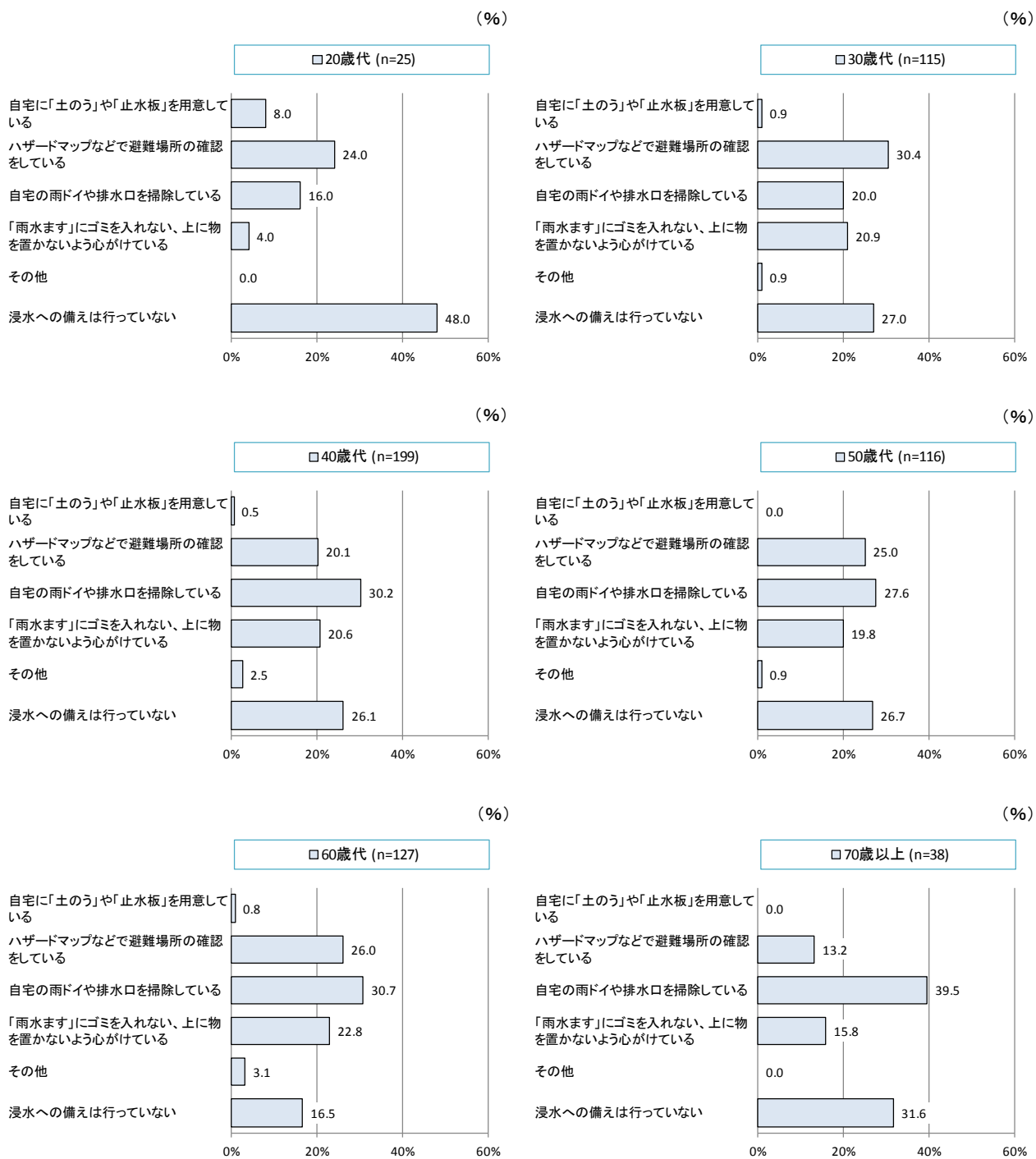
図表 2-3-1 浸水への備え（全体）



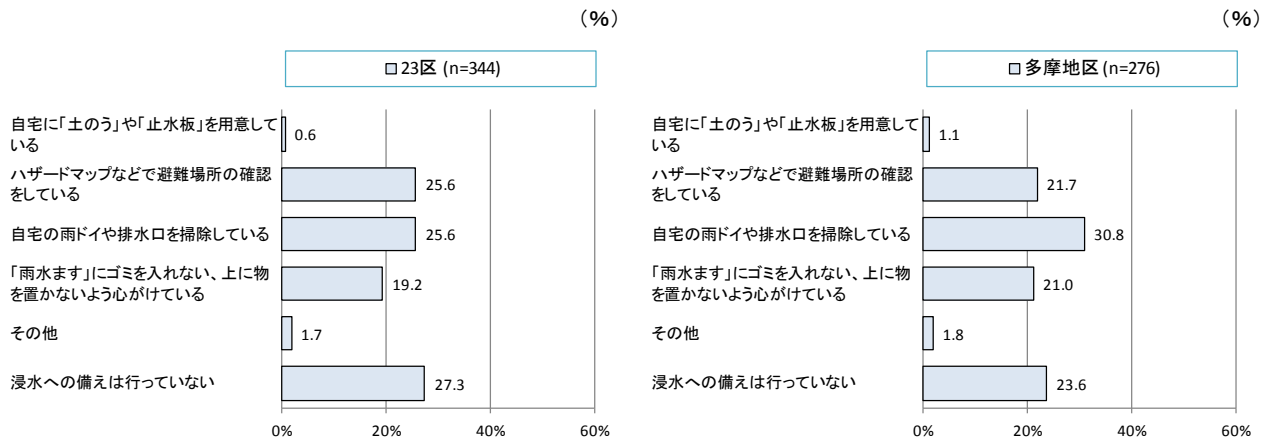
図表 2-3-2 浸水への備え（性別）



図表 2-3-3 浸水への備え（年代別）



図表 2-3-4 浸水への備え（地域別）

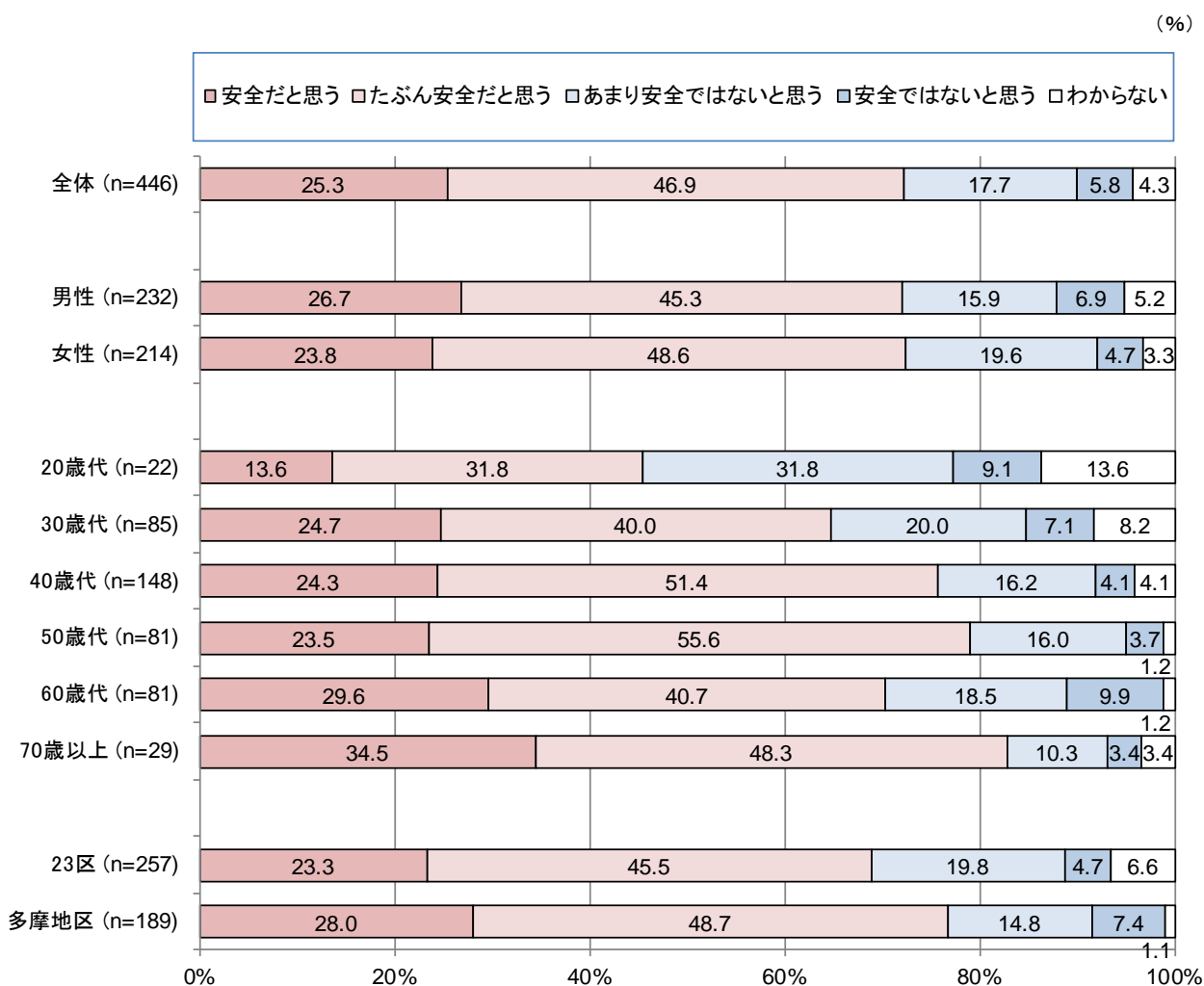


2-4. 浸水に対する安全性

- ◆ 浸水に対する安全性については、「安全だと思う」が25.3%、「たぶん安全だと思う」が46.9%と【安全性】が72.2%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別でみると、【安全性】※は60歳代を除いて年齢が大きくなるにつれ増加する傾向がみられた。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q15. あなたのお宅は、大雨による浸水に対して安全だと思いますか。以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選びください。(単一回答)

図表2-4 浸水に対する安全性



2-5. 大雨による浸水に対する安全についての自由意見

Q16. 上記Q15で、大雨による浸水に対する安全について、あなたがそのようにお答えになった理由を教えてください（自由回答）。

◆ 安全だと思う

- ◇ 居宅が道路より1メートル程高くなっているため。（30歳代男性、23区）
- ◇ 高台にあるマンションのため、安全であると考えから。（40歳代女性、多摩地区）
- ◇ 住居高層マンション。ただし北側市道（マンション駐車場出口）U字溝があふれ道路面に浸水した。（60歳代男性、多摩地区）

◆ たぶん安全だと思う

- ◇ 住んでいる集合住宅で、定期的に清掃や点検等なされている。（30歳代女性、多摩地区）
- ◇ マンションの上階に住んでいるので一時的には大丈夫かと。（40歳代女性、多摩地区）
- ◇ 河川から距離があり、下水道も比較的整備されていると思われるので。（40歳代男性、23区）

◆ あまり安全ではないと思う

- ◇ 以前自宅の地下、及び地上部双方に雨漏りが発生した事があったため。（30歳代男性、23区）
- ◇ 国道と山の水が想定しきれない。（70歳以上男性、多摩地区）
- ◇ 地形的にはリスクが少ないものの、何も備えをしていないため。（50歳代男性、23区）

◆ 安全ではないと思う

- ◇ 浸水被害を経験したことがないため、他人事のように感じて安全対策を考えてないため（30歳代女性、多摩地区）
- ◇ 自宅がやや低い場所にあり、集中豪雨の際のハザードマップにも浸水予測がされているため。（40歳代男性、23区）
- ◇ 浸水対策方法がわからないので。（40歳代男性、多摩地区）

◆ わからない

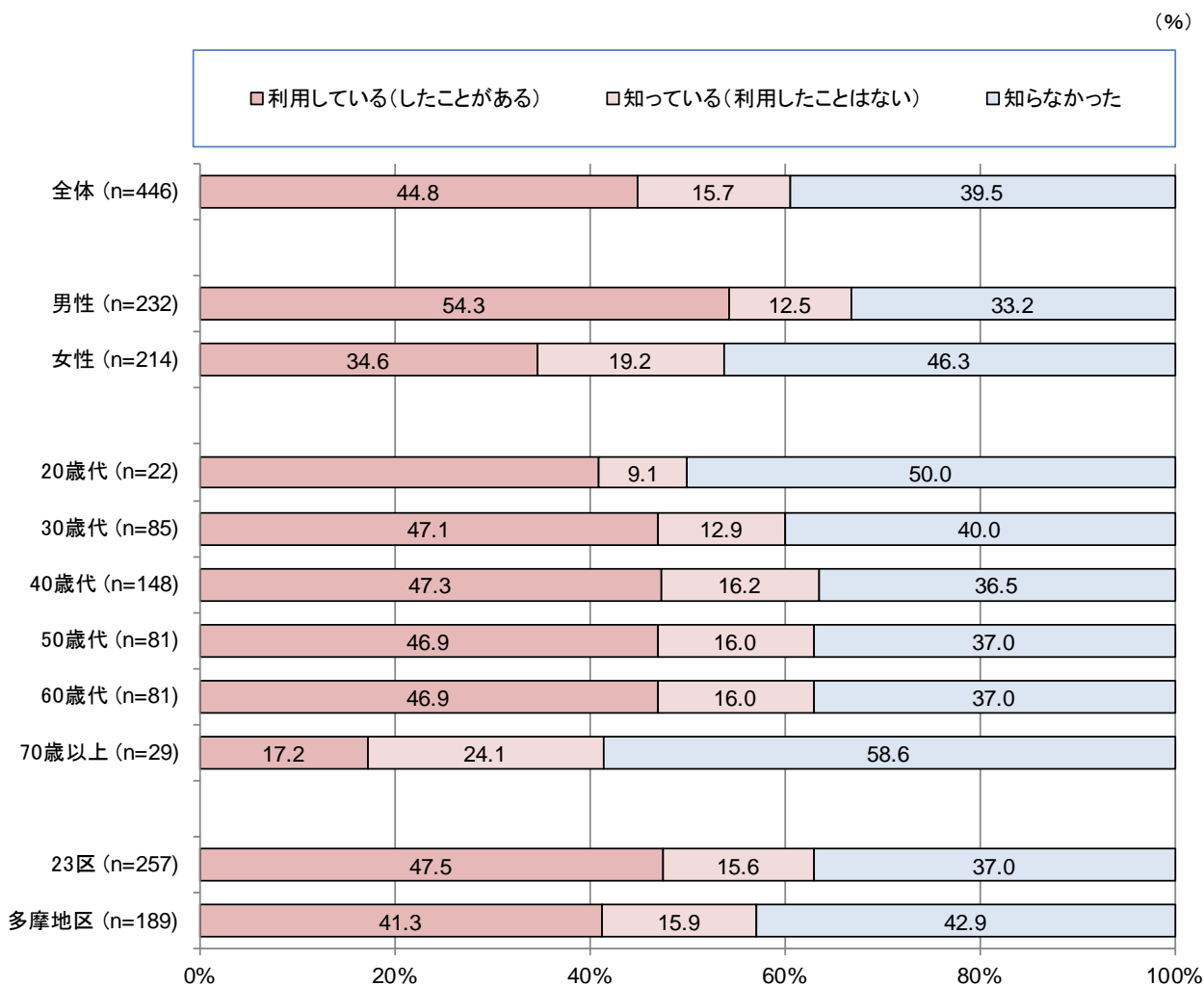
- ◇ ここ数年の天候が予測できないから。（40歳代男性、23区）
- ◇ 地名から推察すると水に関係するものなので、高度がどの程度なのか知りたい。（60歳代女性、23区）
- ◇ 引っ越してきたばかりで、地域の特性や周りの施設がどのように整っているのかわからないから。（20歳代男性、多摩地区）

2-6. 「東京アメッシュ」の認知度

- ◆ 「東京アメッシュ」の認知度については、「利用している（したことがある）」が 44.8%、「知っている（利用したことはない）」が 15.7%となった。
- ◆ 性別で見ると、「利用している（したことがある）」では全体平均と比べて男性の割合が 9.5 ポイント高く、女性の割合が 10.2 ポイント低くなった。
- ◆ 年代別で見ると、【認知度】※では 70 歳以上が最も少なく全体平均より 19.2 ポイント低くなった。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q17. 東京都下水道局では、お客さまへの情報発信として、降雨情報をリアルタイムで提供し、水防活動や避難行動を支援するために、下水道維持管理用レーダー雨量計システムの「東京アメッシュ」を提供しています。あなたはこのことについてご存知でしたか？以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選びください。（単一回答）

図表 2-6 「東京アメッシュ」の認知度



※ 「東京アメッシュ」の認知度について、「利用している（したことがある）」、「知っている（利用したことはない）」の回答を合算した比率を【認知度】、「知らなかった」比率を【非認知度】と定義した。

2-7. 浸水対策取組への関心度

- ◆ 浸水対策取組への関心度については、「非常に関心が高まった」が 40.8%、「やや関心が高まった」が 51.3%となった。
- ◆ 性別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。
- ◆ 年代別でみると、「非常に関心が高まった」では 50 歳代と 70 歳以上が 5 割を超えて多くっており、一方 20 歳代は 2 割未満となった。
- ◆ 地域別では、全体平均から±5.0%以上差異がある項目はなかった。

Q18. 今回のアンケートを通じ、下水道の浸水対策の取組に対する関心がどのようになりましたか？以下の中から該当する選択肢を一つだけお答え下さい（単一回答）。

図表 2-7 浸水対策取組への関心度

